

平成31年度

研修講座案内

学校には、この案内を2部送付しています。

1部は職員室に備え付け、教職員の方が閲覧できるように、ご配慮願います。

山形県教育センター

Yamagata Prefectural Education Institute

この研修講座案内は、Web上にも掲載しています

目 次

I	平成31年度 研修講座の概要	P1
1	基本方針	
2	研修講座の構成	
3	山形県教員研修体系 全体図	
II	平成31年度 研修講座一覧	P3
III	平成31年度 研修講座等年間計画	P5
IV	研修講座内容	P11
1	基本研修	(講座番号101～123)
	教職2年次服務研修	(講座番号F01～F04)
	フォローアップ研修専用選択講座 アフタヌーン講座	(講座番号F05～F06)
2	専門研修 サテライト講座	(講座番号S01～S08)
	専門研修 センター講座	(講座番号201～219)
3	出前サポート	(講座番号301～302)
V	受講手続き	P43
1	受講申込みから受講後までの流れ	
2	受講に係る旅費	
3	昼食及び宿泊の申込み	
4	欠席、遅刻・早退	
VI	電子申請システム操作マニュアル	P48
VII	各種様式	P65
	(様式1) 出前サポート申込書(全校種)	
	(様式2) 出前サポート派遣依頼書(全校種)	
	(様式3) 昼食及び宿泊の申込書(全校種)	
	(様式4) 欠席届(全校種)	
	(様式5) 遅刻・早退届(全校種)	

I 平成31年度 研修講座の概要

1 基本方針

- (1) 山形県教員研修計画に基づき、教員の資質・能力の向上に資するために、キャリアステージや職務に応じた研修講座の開催を推進します。
- (2) 学習指導要領、時代のニーズに対応する研修の充実を図ります。
- (3) 山形県教育振興計画の趣旨を踏まえ、子供と向き合う時間の確保と研修との両立を図る研修にします。
- (4) 県教育センターの研究に基づく研修を教育事務所や学校等で行い、教員の研修の機会を増やすことで、指導力の向上を図ります。また、校内研修等の支援を行い、OJTの充実を図ります。
- (5) 県教育センターにおける研修と校内研修との連携を図るため、研修成果の還元まで支援します。

2 研修講座の構成

県教育センターの研修講座は、基本研修、専門研修、出前サポートに分けられています。

基本研修

教員としての基本的な資質・能力を育成し、その後の教職経験や役職に応じた実践的指導力や教育への使命感と教育理念を深め、総合的な人間力を高めるために、次の研修を悉皆として行います。

- 初任者研修、フォローアップ研修、経験者研修（5年研、中堅研、中長期研）
- 管理職研修 ■ 特別支援教育研修

専門研修

教員としての資質と指導力の向上を図り、学校や地域における教育活動の推進と充実に寄与できるよう、教科・領域等、教育課題等、マネジメントに関する研修を行います。
（教職2年次・3年次フォローアップ研修、教職中長期経験者研修として受講できる講座もあります。）

- 教科・領域等に関する研修講座
- 教育課題等に関する研修講座
- マネジメントに関する研修講座

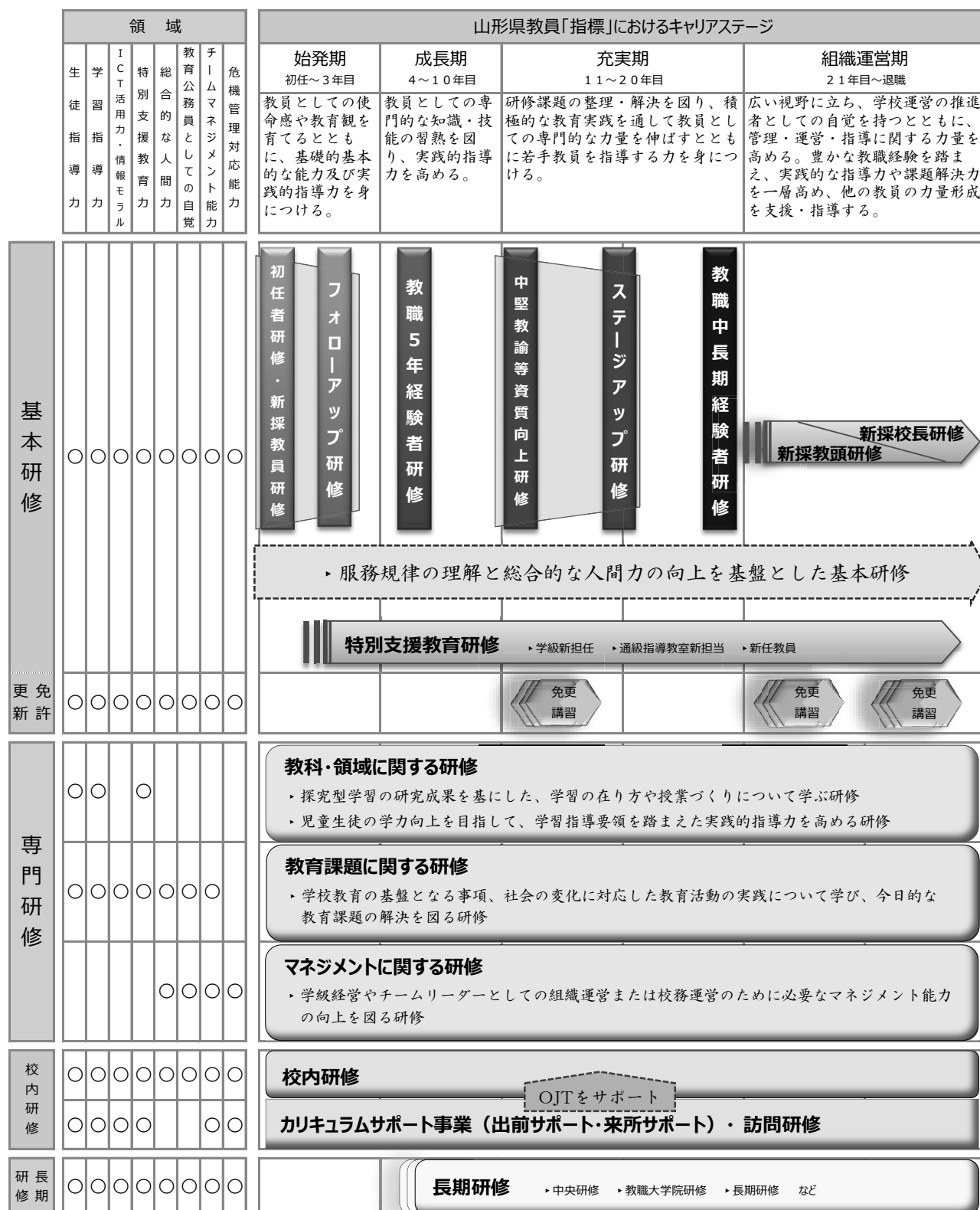
出前サポート

より多くの教員に研修の機会を提供して指導力の向上を図るため、各学校等を会場とした出前研修を行います。また、OJTの充実を図るため、学校の要請に応じ、校内研修や教育研究会等の活動への支援を行います。

- 教科・領域等に関する研修講座
- 教育課題等に関する研修講座
- 研究・研修に関する指導・助言

3 山形県教員研修体系

全体図



注1 ○印は、重点とする領域である。

注2 養護教諭・栄養教諭については、領域内の「生徒指導力」、「学習指導力」を、各職種の専門的な指導力に読み替えるものとする。

注3 職種によっては開講しない講座もある。

Ⅱ 平成31年度 研修講座一覧

1-1 基本研修

(小は小学校、中は中学校、義は義務教育学校、特は特別支援学校、高は高等学校を表している。)

分類	講座番号	講座名	対象	日数(回数)
初任者研修	101	幼稚園等新規採用教員研修	幼稚園等教諭等	19
	102	小学校・中学校・義務教育学校初任者研修	小学校・中学校・義務教育学校教諭	67～77
	103	特別支援学校初任者研修	特別支援学校教諭	
	104	高等学校初任者研修	高等学校教諭	70～80
フォローアップ研修	2年次	105 小学校・中学校・義務教育学校教職2年次フォローアップ研修	小学校・中学校・義務教育学校教諭	3
		106 特別支援学校教職2年次フォローアップ研修	特別支援学校教諭	
		107 高等学校教職2年次フォローアップ研修	高等学校教諭	2
	3年次	108 小学校・中学校・義務教育学校教職3年次フォローアップ研修	小学校・中学校・義務教育学校教諭	1
		109 特別支援学校教職3年次フォローアップ研修	特別支援学校教諭	
		110 高等学校教職3年次フォローアップ研修	高等学校教諭	
経験者研修	111	小学校・中学校・義務教育学校教職5年経験者研修	小学校・中学校・義務教育学校教諭	4
	112	特別支援学校教職5年経験者研修	特別支援学校教諭	4
	113	高等学校教職5年経験者研修	高等学校教諭	4
	114	幼稚園等中堅教諭等資質向上研修	幼稚園等教諭	11
	115	小学校・中学校・義務教育学校中堅教諭等資質向上研修	小学校・中学校・義務教育学校教諭	8+α※
	116	特別支援学校中堅教諭等資質向上研修	特別支援学校教諭	8+α※
	117	高等学校中堅教諭等資質向上研修	高等学校教諭	8+α※
	118	教職中長期経験者研修	小・中・義・特・高の校長、教員	—
管理職研修	119	新規採用校長研修・学校経営研修	小・中・義・特・高の校長	2
	120	新規採用教頭研修・教員倫理研修	小・中・義・特・高の教頭	2
教特別支援	121	特別支援学級新担任基礎研修	【A】知的障がい等の特別支援学級新担任教員 【B】自閉症・情緒障がい、肢体不自由、病弱・身体虚弱、難聴、弱視の特別支援学級新担任教員	2+2
	122	通級指導教室新担当教員基礎研修	通級指導教室の新担当教員	2
	123	特別支援学校新任教員基礎研修	特別支援学校の新任教員	1

※ α:校内研修の日数は、研修者や学校に応じて設定して実施するため、異なります。

1-2 教職2年次服務研修 14:00～16:30

※ 教職2年次フォローアップ研修対象者は、F01～F04の中から1つ選択し、必ず受講してください。

講座番号	講座名	対象	会場
F01	教職2年次服務研修(村山会場)	小・中・義・特・高の教職2年次フォローアップ研修対象者	県教育センター
F02	教職2年次服務研修(最上会場)	小・中・義・特・高の教職2年次フォローアップ研修対象者	最上総合支庁
F03	教職2年次服務研修(置賜会場)	小・中・義・特・高の教職2年次フォローアップ研修対象者	置賜総合支庁西置賜地域振興局
F04	教職2年次服務研修(庄内会場)	小・中・義・特・高の教職2年次フォローアップ研修対象者	三川町公民館

1-3 フォローアップ研修専用選択講座 アフタヌーン講座(県教育センターを会場に開講します。) 14:30～16:30

※ 講座番号F05～F06の講座は、教職2年次・3年次フォローアップ研修対象者のみ選択できます。

講座番号	講座名	対象
F05	A 探究のプロセスを重視した総合的な学習、総合的な探究の時間講座	小・中・義・特・高の教職2年次・3年次フォローアップ研修対象者
	B ESD(持続可能な社会づくり)の授業づくり講座	小・中・義・特・高の教職2年次・3年次フォローアップ研修対象者
	C ICT活用入門講座	小・中・義・特・高の教職2年次・3年次フォローアップ研修対象者
F06	A 協調学習の授業づくり入門講座	小・中・義・特・高の教職2年次・3年次フォローアップ研修対象者
	B 情報教育基礎講座	小・中・義・特・高の教職2年次・3年次フォローアップ研修対象者
	C ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり講座	小・中・義・特・高の教職2年次・3年次フォローアップ研修対象者

2-1 専門研修 サテライト講座(4地区を会場に講座を開講します。) 14:00～16:30

(教職中長期経験者研修の研修者は、該当する校種及び職種別の講座を受講することができます。)

講座番号	講座名	対象	フォローアップ対象※1	日数(回数)	会場
S01	保護者との連携を深めるための教育相談基礎講座(村山会場)	小・中・義・特・高の教員	☆	1	県教育センター
S02	発達障がい基礎講座(村山会場)	小・中・義・特・高の教員	☆	1	県教育センター
S03	保護者との連携を深めるための教育相談基礎講座(最上会場)	小・中・義・特・高の教員	☆	1	最上総合支庁
S04	発達障がい基礎講座(最上会場)	小・中・義・特・高の教員	☆	1	最上総合支庁
S05	保護者との連携を深めるための教育相談基礎講座(置賜会場)	小・中・義・特・高の教員	☆	1	置賜総合支庁西置賜地域振興局
S06	発達障がい基礎講座(置賜会場)	小・中・義・特・高の教員	☆	1	置賜総合支庁西置賜地域振興局
S07	保護者との連携を深めるための教育相談基礎講座(庄内会場)	小・中・義・特・高の教員	☆	1	庄内総合支庁分庁舎
S08	発達障がい基礎講座(庄内会場)	小・中・義・特・高の教員	☆	1	庄内総合支庁分庁舎

※1 ☆は2年次フォローアップ研修、3年次フォローアップ研修対象者として受講可能です。ただし、該当校種については対象を参照してください。

2-2 専門研修 センター講座(10:00～16:30)

(教職中長期経験者研修の研修は、該当する校種及び職種の講座を受講することができます。)

分類	講座番号	講座名	対象	日数	領域								フォローアップ 対象 ※1
					生徒指導力	学習指導力	ICT活用力・ 情報モラル	特別支援教育力	総合的な人間力	教育公務員としての自覚	チームマネジメント能力	危機管理能力	
教科・領域等	201	探究型学習推進講座 A ～カリキュラム・マネジメントの実践～	小・中・義・特・高の教員	1	◎	◎		◎			◎		☆
	202	探究型学習推進講座 B ～教科等における探究型学習の授業づくり～	生活科	小・義・特の教員	1	◎	◎		◎				☆
			① 英語(中・高)	中・義・特・高の教員	1	◎	◎		◎				☆
			美術(中・高)	中・義・特・高の教員	1	◎	◎		◎				☆
			理科(小)	小・義・特の教員	1	◎	◎		◎				☆
			② 音楽(小)	小・義・特の教員	1	◎	◎		◎				☆
			国語(中・高)	中・義・特・高の教員	1	◎	◎		◎				☆
			③ 社会、地歴・公民	小・中・義・特・高の教員	1	◎	◎		◎				☆
			図画工作	小・義・特の教員	1	◎	◎		◎				☆
			数学(高)	特・高の教員	1	◎	◎		◎				☆
			④ 国語(小)	小・義・特の教員	1	◎	◎		◎				☆
			音楽(中・高)	中・義・特・高の教員	1	◎	◎		◎				☆
			技術	中・義・特の教員	1	◎	◎	◎	◎				☆
			⑤ 家庭(小)	小・義・特の教員	1	◎	◎		◎				☆
			算数・数学(中)	小・中・義・特の教員	1	◎	◎		◎				☆
			総合的な学習、総合的な探究の時間	小・中・義・特・高の教員	1	◎	◎		◎		◎		☆
			⑥ 理科(中・高)	中・義・特・高の教員	1	◎	◎		◎				☆
			家庭(中・高)	中・義・特・高の教員	1	◎	◎		◎				☆
教育課題等	203	探究型学習推進講座 C ～事例をもとにした探究型学習における評価の視点～	小・中・義・特・高の教員	1	◎	◎		◎					☆
	204	小学校外国語活動・外国語の授業づくり講座	小・中・義・特の教員	1	◎	◎		◎					☆
	205	授業づくりの基礎を学ぶ講座	理科	中・特(中学部)で、以下のいずれかに該当する教員	2	◎							☆
			音楽										
			美術										
			技術										
			家庭										
	206	実習教諭のための基礎実験講座(理科)	高の理科を担当する実習教諭※3	1		◎						◎	
	207	「特別の教科 道徳」に求められる授業づくり講座	小・中・義・特の教員	1	◎	◎		◎	◎				☆
マネジメント	208	複式学級担任基礎講座	小学校の複式学級担任等	1	◎	◎							
	209	通常の学級における特別支援教育講座	小・中・義・特・高の教員	1	◎	◎		◎					☆
	210	特別支援学級における授業づくり講座※2	小・中・義の特別支援学級(知的障がい)の教員	1	◎	◎		◎					☆
	211	特別支援学校における授業力アップ講座※2	特別支援学校の教員	1	◎	◎		◎					☆ 特のみ
	212	グループアプローチを活用した学級経営講座 ～いじめ・不登校未然防止のための親和的な学級集団づくり～	小・中・義・特・高の教員	1	◎								☆
	213	ICTを活用した授業づくり講座	【前期】小・中・義・特の教員 【後期】高の教員	1+1 ※4		◎	◎						☆
	214	小学校におけるプログラミング教育実践講座	小・義・特の教員	1		◎	◎						☆
マネジメント	215	深い学びの基盤となる学習集団づくり講座 ～児童生徒の主体性・協働性を育む開発的教育相談のすすめ～	小・中・義・特・高の教員	1	◎	◎					◎		☆
	216	チームリーダーのためのファシリテーション基礎講座	小・中・義・特・高の教員	1					◎		◎		
	217	管理職のための危機対応講座	小・中・義・特・高の校長、副校長、教頭	1+1 ※4						◎	◎	◎	
	218	学校運営基礎講座	小・中・義・特・高の主幹教諭、教諭	1						◎	◎	◎	
	219	学校マネジメント講座	小・中・義・特・高の校長・副校長、教頭	1						◎	◎	◎	

※1 ☆は2年次フォローアップ研修、3年次フォローアップ研修対象者として受講可能です。ただし、該当校種については対象を参照してください。

※2 午後からの開催となります。

※3 実習教諭:学校教育法(昭和22年法律第26号)第60条第2項に規定する実習助手

※4 日数の欄が「1+1」の講座は、前期1日、後期1日で構成されます。受講対象の校種等が前期・後期で異なる場合を除き、前期のみ、後期のみを受講したり、前期・後期両方受講したりすることができます。

3 出前サポート(指導主事派遣)

講座番号	講座名	対象	時間	参加人数
301	校内研究・研修支援【教科領域】	小・中・義・特・高の教員		応相談
302	校内研究・研修支援【教育課題】	① 環境教育	小・中・義・特・高の教員	応相談
		② 探究型学習	小・中・義・特・高の教員	応相談
		③ 情報教育	小・中・義・特・高の教員	応相談
		④ いじめ防止対策	小・中・義・特・高の教員	60分～ 応相談
		⑤ 特別支援教育	小・中・義・特・高の教員	応相談
		⑥ 教育相談	小・中・義・特・高の教員	60分～ 応相談

※ 教育委員会が指導主事の派遣を希望する場合は、事前の相談をお願いします。

Ⅲ 平成31年度 研修講座等年間計画

4月			
日	曜	研修講座等	行事・施設利用等
1	月	小・中・義・特・高初任者研修オリエンテーション	発令伝達・所内会議 長期研修(前期)入所式
2	火	研修推進委員会① 小中義初任研・中堅研校長等連絡協議会、拠点校指導教員等連絡協議会(村山)	
3	水	基本研修学習指導担当者会・新任研修担当者会 教育事務所指導課長会議①	
4	木		
5	金		
6	土		
7	日		
8	月		運営委員会
9	火		
10	水		全県指導主事・管理主事・社教主事・社体主事等会議
11	木	小中義初任研・中堅研校長等連絡協議会(最上)、拠点校指導教員等連絡協議会(最上・庄内) 特初任研・中堅研校長等連絡協議会、拠点校指導教員等連絡協議会① 高校初任研校長等連絡協議会①、高校中堅研校長連絡協議会	
12	金	小中義初任研・中堅研校長等連絡協議会、拠点校指導教員等連絡協議会(置賜)	
13	土		
14	日		
15	月		運営委員会
16	火	小・中・義・特中堅教諭等資質向上研修全体研修Ⅰ 養護教諭・栄養教諭中堅研① 外国語教育担当指導主事会議 小中学校の連携による英語教育推進事業協議会①	
17	水	小・中・義・特初任者研修①	生徒指導担当者会① SC連絡会議
18	木	高校中堅教諭等資質向上研修全体研修Ⅰ	教育事務所研修担当指導主事会議①
19	金	教育マイスター制度ベーシック会議① 探究型学習推進協議会 小・中・義初任研時間割作成研修会(庄内) 県中学校校長会	
20	土		
21	日		
22	月	運営委員会・所内会議 特別支援教育担当指導主事会・市町村就学指導事務担当者等連絡協議会	
23	火	高校初任者研修① 特別支援学校新任教員基礎研修	
24	水	小・中・義初任研指導計画等作成研修会(最上) 新任指導主事研修会	
25	木	↓	↓
26	金		研修推進委員会②
27	土		
28	日		
29	月	昭和の日	
30	火	国民の祝日	

5月			
日	曜	研修講座等	行事・施設利用等
1	水	即位の日	
2	木	国民の祝日	
3	金	憲法記念日	
4	土	みどりの日	
5	日	こどもの日	
6	月	振替休日	
7	火		運営委員会
8	水		
9	木	小・義・特初任者研修A②	
10	金	↓	学力向上担当者会①
11	土		
12	日		
13	月	運営委員会 へき地小規模学校教育研究会① 小中学校体育経営研修会(前期)	
14	火	授業づくりの基礎を学ぶ講座	↓
15	水	↓	
16	木	小・義初任者研修B②	にここ相談連絡協議会 市町村立学校事務職員研修(前期) 新規採用養護教諭・栄養教諭研修②
17	金	↓↓	幼稚園等中堅教諭等資質向上研修全体研修Ⅰ(村山・置賜)
18	土		24時間SOSダイヤル第1回連絡協議会
19	日		
20	月		運営委員会 教育相談員等研修会①
21	火	新採教頭研修・教員倫理研修【前期】 通級指導専門性充実検討会議 小中義初任研・中堅研校長等連絡協議会(庄内)	
22	水	新採校長研修・学校経営研修 通級指導教室新担当教員基礎研修	
23	木	↓	
24	金	高校初任者研修地区別研修	教育事務所研修担当指導主事会議② 県高等学校教務主任連絡協議会
25	土		
26	日		
27	月		運営委員会・所内会議
28	火	中・義初任者研修②	
29	水	↓	
30	木	特別支援学級新担任基礎研修【A】	
31	金	↓	

6月			
日	曜	研修講座等	行事・施設利用等
1	土		
2	日		
3	月	運営委員会 管内特別支援教育コーディネーター養成研修会(村山)	
4	火	幼稚園等新採研修①	
5	水	特別支援学級新担任基礎研修【B】	
6	木	↓	
7	金	JET事業担当者会議 研修推進委員会③ 教育事務所主任指導主事会議② 探究型学習運営部会①	
8	土		
9	日		
10	月	運営委員会 へき地小規模学校教育研究会②	
11	火	高等学校体育経営・保健安全推進研究委員会① 高校特別支援教育コーディネーター養成研修①	
12	水	高校初任者研修②	
13	木		県立学校校内ネットワーク 担当者連絡協議会
14	金	↓	
15	土		
16	日		
17	月		運営委員会
18	火		研修担当者会① 「山形教育」編集委員会
19	水	特別支援教育巡回相談員養成研修会① 県理科センター協議会事務局員研修会	
20	木		CCM①
21	金	小学校におけるプログラミング教育実践講座	
22	土		
23	日		
24	月		運営委員会・所内会議
25	火	管理職のための危機対応講座【前期】	
26	水	探究型学習推進講座A	
27	木	中・義5年経験者研修 特(中高)5年経験者研修全体研修Ⅰ	
28	金	小・義5年経験者研修 特(小)5年経験者研修全体研修Ⅰ	
29	土		
30	日		

7月			
日	曜	研修講座等	行事・施設利用等
1	月		運営委員会
2	火	グループアプローチを活用した学級経営講座	
3	水	通常の学級における特別支援教育基礎講座	県小中教研理事会議
4	木	探究型学習推進講座B①	県高等学校生徒指導連絡 会議
5	金	JET勤務修了式 教職2年次服務研修【庄内会場】	新採養教研③、養教5年研①、 養教中堅研②
6	土		
7	日		
8	月		運営委員会
9	火	高校5年経験者研修全体研修	
10	水	実習教諭のための基礎実験講座(理科)	村山地区特別支援教育研 修会
11	木	学校運営基礎講座	CCM②
12	金		県教育課程推進協議会
13	土		
14	日		
15	月	海の日	
16	火		運営委員会
17	水		研修推進委員会④
18	木		県高等学校就職指導連絡 会議
19	金		県教員研修体系検討委員 会幹事会
20	土		
21	日		
22	月		運営委員会・所内会議
23	火	幼稚園等新採研修②	
24	水	↓	
25	木	高校中堅教諭等資質向上研修授業 研修	
26	金	↓	
27	土		
28	日		
29	月	運営委員会 村山地区小・中学校教育課程説明会	
30	火	小・義初任者研修A③	CCM③
31	水	小・義・特(小)初任者研修B③	新規採用栄養教諭研修③

8月			
日	曜	研修講座等	行事・施設利用等
1	木	小・中・義・特中堅研全体研修Ⅱ	養護教諭中堅研③、栄養教諭中堅研②
2	金	↓	↓
3	土		
4	日		
5	月	中・義・特(中・高)初任者研修③	運営委員会 新規採用養護教諭研修④
6	火	幼・高中堅教諭等資質向上研修全体研修Ⅱ 特別支援学校中堅教諭等資質向上研修授業研修	
7	水	↓ ↓	
8	木	教職2年次服務研修【村山会場】	
9	金	教職2年次服務研修【置賜会場】	県特別支援学校教務主任等研修会
10	土		
11	日	山の日	
12	月	振替休日	
13	火		
14	水		
15	木		
16	金		
17	土		
18	日		
19	月		運営委員会
20	火	高校初任者研修③	県教員研修体系検討委員会
21	水	↓ 新規来日JETオリエンテーション	
22	木		
23	金	↓	研修推進委員会⑤
24	土		
25	日		
26	月		運営委員会・所内会議
27	火	探究型学習推進講座B②	
28	水	新採教頭研修・教員倫理研修【後期】	
29	木	サテライト講座(発達障がい)【村山会場】 教育マイスター制度ベーシック研修② 探究型学習推進プロジェクトチーム会議	
30	金	探究型学習推進講座B③	
31	土		

9月			
日	曜	研修講座等	行事・施設利用等
1	日		
2	月		運営委員会
3	火		県基本研修実施協議会
4	水		全県指導主事研究協議会
5	木	探究型学習推進講座B④	CCM④
6	金	「特別の教科 道徳」に求められる授業づくり講座	生徒指導担当者会② 新規採用栄養教諭研修④
7	土		
8	日		
9	月		
10	火		
11	水		
12	木		
13	金	特別支援学校における授業力アップ講座(午後のみ)	研修推進委員会⑥ 学力向上担当者会②
14	土		
15	日		
16	月	敬老の日	
17	火	サテライト講座(発達障がい)【置賜会場】	運営委員会
18	水	複式学級担任基礎講座	高等学校体育経営・保健安全推進研究委員会②
19	木	フォローアップアフタヌーン講座(総合、ESD、ICT)	
20	金	特別支援学級における授業づくり講座(午後のみ)	
21	土		
22	日		
23	月	秋分の日	
24	火	教職2年次服務研修【最上会場】	運営委員会・所内会議
25	水	小学校外国語活動・外国語の授業づくり講座	
26	木	管理職のための危機対応講座【後期】 サテライト講座(発達障がい)【庄内会場】	
27	金	チームリーダーのためのファシリテーション基礎講座	新規採用養護教諭研修⑤
28	土		
29	日		
30	月		運営委員会 長期研修(前期)修了式

10月			
日	曜	研修講座等	行事・施設利用等
1	火	長期研修(後期)入所式 高校初任研校長等連絡協議会② CCM⑤	
2	水	学校マネジメント講座	
3	木	特5年経験者研修全体研修Ⅱ	
4	金	サテライト講座(保護者連携)【村山会場】	
5	土		24時間SOSダイヤル第2回連絡協議会
6	日		
7	月		運営委員会
8	火	フォローアップアフタヌーン講座(協調、情報教育、UD) 特別支援教育巡回相談員養成研修会② 特別支援教材・支援機器等地域展示会	
9	水	高校5年経験者研修教科別研修	
10	木	特別支援学校初任者研修④	新採栄養研⑤ 栄養5年研① 栄養中堅研③
11	金	↓ サテライト講座(保護者連携) 【庄内会場】	
12	土		
13	日		
14	月	体育の日	
15	火	サテライト講座(発達障がい)【最上会場】 運営委員会 高校特別支援教育コーディネーター養成研修②	
16	水	高校初任者研修④	
17	木	↓ 特初任研拠点校指導教員等連絡協議会② 高校体育経営・保健安全推進研究委員会③	
18	金	↓	
19	土		
20	日		
21	月		運営委員会
22	火	即位礼正殿の儀	
23	水	探究型学習推進講座B⑤	CCM⑥
24	木	深い学びの基盤となる学習集団づくり講座 通級による指導(LD,ADHD)担当者連絡協議会② 市町村立学校事務職員研修(後期)	
25	金	探究型学習推進講座B⑥	↓ 県高等学校入学者選抜実施要項説明会(村山地区)
26	土		
27	日		
28	月		運営委員会・所内会議 教育相談員等研修会②
29	火	幼稚園等新採研修③	
30	水	↓ 通級による指導(LD,ADHD)担当者連絡協議会②	
31	木	ICTを活用した授業づくり講座【前期】	

11月			
日	曜	研修講座等	行事・施設利用等
1	金	ICTを活用した授業づくり講座【後期】	生徒指導担当者会③
2	土		
3	日	文化の日	
4	月	振替休日	
5	火		運営委員会
6	水	高校初任者研修⑤教科別研修	
7	木	↓ サテライト講座(保護者連携)【最上会場】 特別支援学校初任者研修⑤	
8	金	↓	
9	土		
10	日		
11	月		運営委員会
12	火	探究型学習推進講座C	特別支援教育教育課程研究協議会
13	水	サテライト講座(保護者連携)【置賜会場】	
14	木		
15	金		学校体育研究発表大会
16	土		
17	日		
18	月		運営委員会
19	火	JETプログラム指導力等向上研修	研修推進委員会⑦
20	水	↓	
21	木	小・義初任者研修A④	
22	金	↓	小中学校の連携による英語教育推進事業協議会②
23	土	勤労感謝の日	
24	日		
25	月		運営委員会・所内会議
26	火	中・義初任者研修④	
27	水	↓ 特別支援学校初任者研修⑥	
28	木	↓ 小・義初任者研修B④	
29	金	↓ ↓	高等学校体育経営・保健安全推進研究委員会④
30	土		

12月			
日	曜	研修講座等	行事・施設利用等
1	日		
2	月		運営委員会
3	火	幼稚園等新採研修④	
4	水		教育事務所研修担当指導主事会議③
5	木	養護・栄養教諭研修(新採研⑥・5年研②・中堅研④)	
6	金	↓	研修推進委員会⑧ CCM⑦
7	土		
8	日		
9	月		運営委員会
10	火		
11	水		研修担当者会②
12	木		探究型学習推進研究会
13	金		
14	土		
15	日		
16	月		学校教育指導の重点作成会議
17	火		↓
18	水		
19	木		
20	金		
21	土		
22	日		
23	月		運営委員会・所内会議
24	火		
25	水		
26	木		
27	金		
28	土		
29	日		
30	月	年末休業	
31	火		

1月			
日	曜	研修講座等	行事・施設利用等
1	水	元日	
2	木	年始休業	
3	金		
4	土		
5	日		
6	月		運営委員会・所内会議
7	火		
8	水		
9	木		
10	金		研修推進委員会⑨
11	土		
12	日		
13	月	成人の日	
14	火		運営委員会
15	水	ALT地区別研修(置賜)	高等学校体育経営・保健安全推進研究委員会⑤
16	木		
17	金	ALT地区別研修(庄内)	
18	土		
19	日		
20	月		運営委員会
21	火	高校初任者研修⑥	へき地小規模学校教育研究会③
22	水	↓	
23	木		
24	金		
25	土		
26	日		
27	月		運営委員会・所内会議
28	火		通級指導専門性充実検討会議
29	水	ALT地区別研修(最上)	
30	木		
31	金	ALT地区別研修(村山)	教育事務所研修担当指導主事会議④ 小中学校体育経営研修会(後期)

2月			
日	曜	研修講座等	行事・施設利用等
1	土		
2	日		
3	月		運営委員会
4	火		
5	水		
6	木		
7	金	教育事務所指導課長等会議④ 山形県児童生徒の体力向上対策会議	
8	土		
9	日		
10	月		運営委員会
11	火	建国記念日	
12	水		いじめ不登校未然防止推進協議会②
13	木	高等学校体育経営・保健安全推進研究委員会⑥ ↓ 生徒指導担当者会④	
14	金		学力向上担当者会③
15	土		
16	日		
17	月		運営委員会・所内会議
18	火		研修推進委員会⑩
19	水		
20	木		
21	金		CCM⑧ 探究型学習推進協議会②
22	土		
23	日	天皇誕生日	
24	月	振替休日	
25	火		運営委員会
26	水		
27	木		
28	金		研修担当者会③
29	土		

3月			
日	曜	研修講座等	行事・施設利用等
1	日		
2	月		運営委員会
3	火		
4	水		
5	木		
6	金		
7	土		
8	日		
9	月		運営委員会
10	火		
11	水		
12	木		
13	金		
14	土		
15	日		
16	月		運営委員会
17	火		
18	水		運営委員会・所内会議
19	木		
20	金	春分の日	
21	土		
22	日		
23	月		長期研修(後期)修了式
24	火		
25	水		
26	木		
27	金		
28	土		
29	日		
30	月		
31	火		

Ⅳ 研修講座内容

<表の見方>

<受講対象者について>

- ・原則、教員とします。
○教員とは、**副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師**を指します。
教育公務員特例法 第二条第2項より
- ・校長、実習教諭も受講対象とします。

講座番号について

- 「基本研修」は100番台
- 「教職2年次服務研修」「フォローアップ研修専用選択講座」はF 番台
- 「専門研修 サテライト講座」はS番台
- 「専門研修 センター講座」は200番台
- 「出前サポート」は300番台

番号・講座名	217 管理職のための危機対応講座
ね ら い	【前期】 管理職（校長・副校長・教頭）を対象に、いじめ防止、保護者対応等に関する講義・演習を通し、実践的危機管理運営力を養う。 【後期】 管理職（校長・副校長・教頭）を対象に、メディア対応に関する講義・演習を通し、平常時と緊急時に必要な実践的危機管理運営力を養う。
受講対象校種 条件等	小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の管理職（校長・副校長・教頭）
期 日	【前期】平成31年6月25日（火） 【後期】平成31年9月26日（木）
講 座 内 容	【前期】①生徒指導と危機管理（講義） ②保護者からの要求や意見等への対応法（講義・演習） 【後期】①平常時の危機管理とメディア対応（講義・演習） ②緊急記者会見対応と記者取材対応のポイント（講義・演習）
主 な 講 師 （予定）	【前期】○九段富士見法律事務所 弁護士 堀切忠和 ○日本教育カウンセラー協会 理事 藤川章 【後期】○学識経験者
そ の 他	◇前期・後期のいずれか一方だけの受講も可能である。

講師は、平成31年2月現在の予定です。都合により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

【前期】【後期】に分かれている講座の受講については、その他の欄に受講に関する留意点が記載されています。確認の上、お申し込みください。

番号・講座名	202B② 探究型学習推進講座B ～教科等における探究型学習の授業づくり～【国語（中・高）】
ね ら い	中学校及び高等学校学習指導要領の趣旨を踏まえ、国語科における探究型学習について学び、対話的な学びの過程が実現できる授業づくり等について、実践的な指導力を向上させる。
受講対象校種 条件等	中学校・義務教育学校・特別支援学校（中学部、高等部）・高等学校で国語を担当する教員
期 日	平成31年8月27日（火）
講 座 内 容	①「対話力」が高まる授業づくり ②学習指導要領の改訂をふまえた国語科の授業改善について
主 な 講 師	○筑波大学 准教授 長田友紀 ○県教育センター指導主事
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（中学校・義務教育学校・特別支援学校（中学部、高等部）・高等学校）として受講可能。

○教職2年次・3年次フォローアップ研修として申し込む場合、「受講対象校種・条件等」に該当する場合でも、教職2年次・3年次フォローアップ研修として受講できない講座もあります。必ず、その他の欄の「◇教職2年次・3年次フォローアップ研修として受講可能である」の記載と、（ ）内の校種をご確認の上、お申し込みください。

1-1 基本研修

初任者研修、フォローアップ研修、経験者研修、管理職研修についての詳細日程や内容等は、該当校に別途送付する「研修の手引」「実施要項」をご覧ください。

番号・講座名	101	幼稚園等新規採用教員研修
ね ら い	幼稚園等の新規採用教員に対して、その職務に必要な事項に関する研修を実施し、実践的な指導力と使命感を養うとともに総合的な人間力を高める。	
受 講 対 象	平成31年度新規採用幼稚園等教諭等（悉皆）	
期 日	「平成31年度幼稚園等新規採用教員研修の手引」に示すとおり	
講 座 内 容	①「幼児理解力」における、幼児理解力、教育相談力、学級経営力を高める研修 ②「保育指導力」における、集団指導力、保育の専門性の構築に関する研修 ③「特別支援教育力」における特別支援教育力を高める研修 ④「総合的な人間力」における、年齢にふさわしい社会力、豊かな人間性・教養、学び続ける姿勢に関する研修 ⑤「教育公務員としての自覚」における、教育公務員にふさわしい倫理観や、身分、服務に関する研修 ⑥「チームマネジメント能力」における、経営参画意識、連絡調整力、チーム運営力を高める研修 ⑦「危機管理対応能力」における、園の安全管理・情報管理に関する研修	
主 な 講 師	〇学識経験者、幼稚園教員、指導主事等	

番号・講座名	102	小学校・中学校・義務教育学校初任者研修
ね ら い	新規採用教員に対して、教育公務員特例法第23条等の規定に基づき、現職研修の一環として、1年間の研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに総合的な人間力を高める。	
受 講 対 象	平成31年度新規採用小学校・中学校・義務教育学校教諭（悉皆）	
期 日	「平成31年度初任者研修の手引―小学校・中学校・義務教育学校―」に示すとおり	
講 座 内 容	①「生徒指導力」における、児童生徒理解力、教育相談力、集団指導力、学級経営力を高める研修 ②「学習指導力」における、基礎的授業力、カリキュラム・マネジメント、指導の積極的改善、教師としての専門性の構築、専門教科・領域の指導力を高める研修 ③「ICT活用力・情報モラル」における、ICT活用指導力を高める研修 ④「特別支援教育力」における、特別支援教育力を高める研修 ⑤「総合的な人間力」における、年齢にふさわしい社会力、豊かな人間性・教養、学び続ける姿勢に関する研修 ⑥「教育公務員としての自覚」における、教育公務員にふさわしい倫理観や、身分、服務に関する研修 ⑦「チームマネジメント能力」における、経営参画意識、連絡調整力、チーム運営力、後輩への指導・助言力を高める研修 ⑧「危機管理対応能力」における、学校の安全管理・情報管理に関する研修	
主 な 講 師	〇山形大学 副学長 出口毅 〇企業関係者、学識経験者、学校教員、指導主事等	

番号・講座名	103	特別支援学校初任者研修
ね ら い	新規採用教員に対して、教育公務員特例法第23条等の規定に基づき、現職研修の一環として、1年間の研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに総合的な人間力を高める。	
受 講 対 象	平成31年度新規採用特別支援学校教諭（悉皆）	
期 日	「平成31年度初任者研修の手引―特別支援学校―」に示すとおり	
講 座 内 容	①「生徒指導力」における、児童生徒理解力、教育相談力、集団指導力、学級経営力を高める研修 ②「学習指導力」における、基礎的授業力、カリキュラム・マネジメント、指導の積極的改善、教師としての専門性の構築、各教科等の指導力を高める研修 ③「ICT活用力・情報モラル」における、ICT活用指導力を高める研修 ④「特別支援教育力」における、特別支援教育力を高める研修 ⑤「総合的な人間力」における、年齢にふさわしい社会力、豊かな人間性・教養、学び続ける姿勢に関する研修 ⑥「教育公務員としての自覚」における、教育公務員にふさわしい倫理観や、身分、服務に関する研修 ⑦「チームマネジメント能力」における、経営参画意識、連絡調整力、チーム運営力、後輩への指導・助言力を高める研修 ⑧「危機管理対応能力」における、学校の安全管理、情報管理に関する研修	
主 な 講 師	○山形大学 副学長 出口毅 ○企業関係者、学識経験者、学校教員、指導主事等	

番号・講座名	104	高等学校初任者研修
ね ら い	新規採用教員に対して、教育公務員特例法第23条等の規定に基づき、現職研修の一環として、1年間の研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに総合的な人間力を高める。	
受 講 対 象	平成31年度新規採用高等学校教諭（悉皆）	
期 日	「平成31年度初任者研修の手引―高等学校―」に示すとおり	
講 座 内 容	①「生徒指導力」における、児童生徒理解力、教育相談力、集団指導力、学級経営力を高める研修 ②「学習指導力」における、基礎的授業力、カリキュラム・マネジメント、指導の積極的改善、教師としての専門性の構築、専門教科・領域の指導力を高める研修 ③「ICT活用力・情報モラル」における、ICT活用指導力を高める研修 ④「特別支援教育力」における、特別支援教育力を高める研修 ⑤「総合的な人間力」における、年齢にふさわしい社会力、豊かな人間性・教養、学び続ける姿勢に関する研修 ⑥「教育公務員としての自覚」における、教育公務員にふさわしい倫理観や、身分、服務に関する研修 ⑦「チームマネジメント能力」における、経営参画意識、連絡調整力、チーム運営力、後輩への指導・助言力を高める研修 ⑧「危機管理対応能力」における、学校の安全管理・情報管理に関する研修	
主 な 講 師	○国立教育政策研究所 生徒指導調査官 長田徹 ○企業関係者、学識経験者、学校教員、指導主事等	

番号・講座名	105	小学校・中学校・義務教育学校教職2年次フォローアップ研修
ね ら い	教職2年次の公立学校教員を対象として、学習指導、学級経営、生徒指導等における知識と技能の充実を図るとともに、教員としての資質と実践的指導力を高める。	
受 講 対 象	経験者を除く、平成30年度新規採用の小学校・中学校・義務教育学校教諭（悉皆）	
期 日 及 び 講 座 内 容	「平成31年度フォローアップ研修講座一覧（小学校用・中学校用）」※に示すとおり ※県教育センターWebページ参照	
主 な 講 師	○教職員課 管理主事、学校教員、指導主事等	

番号・講座名	106	特別支援学校教職2年次フォローアップ研修
ね ら い	教職2年次の公立学校教員を対象として、学習指導、学級経営、生徒指導等における知識と技能の充実を図るとともに、教員としての資質と実践的指導力を高める。	
受 講 対 象	経験者を除く、平成30年度新規採用の特別支援学校教諭（悉皆）	
期 日 及 び 講 座 内 容	「平成31年度フォローアップ研修講座一覧（特別支援学校用）」※に示すとおり ※県教育センターWebページ参照	
主 な 講 師	○教職員課 管理主事、学校教員、指導主事等	

番号・講座名	107	高等学校教職2年次フォローアップ研修
ね ら い	教職2年次の公立学校教員を対象として、学習指導、学級経営、生徒指導等における知識と技能の充実を図るとともに、教員としての資質と実践的指導力を高める。	
受 講 対 象	経験者を除く、平成30年度新規採用の高等学校教諭（悉皆）	
期 日 及 び 講 座 内 容	「平成31年度フォローアップ研修講座一覧（高等学校用）」※に示すとおり ※県教育センターWebページ参照	
主 な 講 師	○教職員課 管理主事、学校教員、指導主事等	

番号・講座名	108	小学校・中学校・義務教育学校教職3年次フォローアップ研修
ね ら い	教職3年次の公立学校教員を対象として、学習指導、学級経営、生徒指導等における知識と技能の充実を図るとともに、教員としての資質と実践的指導力を高める。	
受 講 対 象	経験者を除く、平成29年度新規採用の小学校・中学校・義務教育学校教諭（悉皆）	
期 日 及 び 講 座 内 容	「平成31年度フォローアップ研修講座一覧（小学校用・中学校用）」※に示すとおり ※県教育センターWebページ参照	
主 な 講 師	○学校教員、指導主事等	

番号・講座名	109	特別支援学校教職3年次フォローアップ研修
ね ら い	教職3年次の公立学校教員を対象として、学習指導、学級経営、生徒指導等における知識と技能の充実を図るとともに、教員としての資質と実践的指導力を高める。	
受 講 対 象	経験者を除く、平成29年度新規採用の特別支援学校教諭（悉皆）	
期 日 及 び 講 座 内 容	「平成31年度フォローアップ研修講座一覧（特別支援学校用）」※に示すとおり ※県教育センターWebページ参照	
主 な 講 師	○学校教員、指導主事等	

番号・講座名	110	高等学校教職3年次フォローアップ研修
ね ら い	教職3年次の公立学校教員を対象として、学習指導、学級経営、生徒指導等における知識と技能の充実を図るとともに、教員としての資質と実践的指導力を高める。	
受 講 対 象	経験者を除く、平成29年度新規採用の高等学校教諭（悉皆）	
期 日 及 び 講 座 内 容	「平成31年度フォローアップ研修講座一覧（高等学校用）」※に示すとおり ※県教育センターWebページ参照	
主 な 講 師	○学校教員、指導主事等	

番号・講座名	111	小学校・中学校・義務教育学校教職5年経験者研修
ね ら い	教員として必要な使命感と教育観の深化を図るとともに、専門的な知識と技能を高め、教員としての資質と実践的指導力の向上を図る。	
受 講 対 象	教諭としての在職期間が5年を経過した小学校・中学校・義務教育学校教諭（悉皆）	
期 日	「平成31年度小学校・中学校・義務教育学校教職5年経験者研修実施要項」に示すとおり	
講 座 内 容	①学校における「合理的配慮」について（講義） ②教育公務員の服務（講義・演習） ③探究型学習についてⅠ・Ⅱ（講義・演習） ④いじめ未然防止のための学級経営（講義・演習）	
主 な 講 師	○教職員課 管理主事、指導主事等	

番号・講座名	112	特別支援学校教職5年経験者研修
ね ら い	教員として必要な使命感と教育観の深化を図るとともに、専門的な知識と技能を高め、教員としての資質と実践的指導力の向上を図る。	
受 講 対 象	教諭としての在職期間が5年を経過した県立特別支援学校教諭（悉皆）	
期 日	「平成31年度特別支援学校教職5年経験者研修実施要項」に示すとおり	
講 座 内 容	①学校における「合理的配慮」について（講義） ②教育公務員の服務（講義・演習） ③探究型学習について（講義） ④子供の学びを支援する教材教具の工夫（講義・演習） ⑤いじめ未然防止のための学級経営（講義・演習） ⑥特別支援学校における授業の充実（講義） ⑦授業研究（実践発表・研究協議）	
主 な 講 師	○教職員課 管理主事、指導主事、学校教員等	

番号・講座名	113	高等学校教職5年経験者研修
ね ら い	教員として必要な使命感と教育観の深化を図るとともに、専門的な知識と技能を高め、教員としての資質と実践的指導力の向上を図る。	
受 講 対 象	教諭としての在職期間が5年を経過した公立高等学校教諭（悉皆）	
期 日	「平成31年度高等学校教職5年経験者研修実施要項」に示すとおり	
講 座 内 容	①教育公務員の服務について（講義・演習） ②いじめを未然に防ぐ学級づくり（講義・演習） ③高等学校会場における教科別研修（研究授業・研究討議・実践発表）	
主 な 講 師	○会津大学 教授 刈間澤勇人 ○教職員課 管理主事、指導主事等	

番号・講座名	114	幼稚園等中堅教諭資質向上研修
ね ら い	教育公務員特例法第24条等の規定に基づき、現職研修の一環として、個々の教諭等の能力や適性等に応じた1年間の研修を実施し、指導援助のあり方や幼児理解等に関する実践的指導力の充実を図るとともに総合的な人間力を高める。	
受 講 対 象	現在幼稚園等に勤務している者で、幼稚園教諭、保育教諭、保育士として勤務した期間が、10年を経過した者。（悉皆）	
期 日	「平成31年度幼稚園等中堅教諭等資質向上研修の手引」に示すとおり	
講 座 内 容	①豊かな人間性や社会性、常識と教養等に関する研修（講義） ②特別な支援が必要な子どもの理解と支援（講義） ③幼稚園教育の現状と課題（講義） ④幼児教育と子育て支援について（講義・演習）	
主 な 講 師	○宮城学院女子大学 教授 磯部裕子 ○県立こども医療療育センター 小児科医 白幡恵美 ○学識経験者、幼稚園教員、指導主事等	

番号・講座名	115	小学校・中学校・義務教育学校中堅教諭等資質向上研修
ね ら い	教育公務員特例法第24条等の規定に基づき、現職研修の一環として、個々の教諭等の能力や適性等に応じた研修を実施し、中堅教諭等としての資質向上を図る。	
受 講 対 象	教諭としての在職期間が10年を経過した小学校・中学校・義務教育学校教諭（悉皆）	
期 日	「平成31年度中堅教諭等資質向上研修の手引（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）」に示すとおり	
講 座 内 容	①教育公務員の服務Ⅰ・Ⅱ（講義・演習） ②中堅教員に求められる指導力Ⅰ・Ⅱ（講義・演習） ③探究型学習について（講義） ④学校における「合理的配慮」について（講義） ⑤教員のメンタルヘルス（講義） ⑥特別な支援が必要な子供の理解と支援（講義） ⑦いのちの教育について（講義） ⑧探究型学習の授業実践報告会（グループ協議）	
主 な 講 師	○山形大学 教授 中井義時 ○東北福祉大学 教授 樋口一宗 ○教職員課 管理主事、指導主事等	

番号・講座名	116	特別支援学校中堅教諭等資質向上研修
ね ら い	教育公務員特例法第24条等の規定に基づき、現職研修の一環として、個々の教諭等の能力や適性等に応じた研修を実施し、中堅教諭等としての資質向上を図る。	
受 講 対 象	教諭としての在職期間が10年を経過した県立特別支援学校教諭（悉皆）	
期 日	「平成31年度中堅教諭等資質向上研修の手引（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）」に示すとおり	
講 座 内 容	①教育公務員の服務Ⅰ・Ⅱ（講義・演習） ②中堅教諭に求められる指導力Ⅰ・Ⅱ（講義・演習） ③探究型学習について（講義） ④学校における「合理的配慮」について（講義） ⑤研修の進め方（講義） ⑥教員のメンタルヘルス（講義） ⑦特別な支援が必要な子供の理解と支援（講義） ⑧いのちの教育について（講義） ⑨特別支援教育に求められる指導力（講義） ⑩課題解決に向けてのグループ協議（演習） ⑪授業研究（実践発表・研究協議）	
主 な 講 師	○山形大学 教授 中井義時 ○東北福祉大学 教授 樋口一宗 ○教職員課 管理主事、指導主事、学校教員等	

番号・講座名	117	高等学校中堅教諭等資質向上研修
ね ら い	教育公務員特例法第24条等の規定に基づき、現職研修の一環として、個々の教諭等の能力や適性等に応じた研修を実施し、中堅教諭等としての資質向上を図る。	
受 講 対 象	教諭としての在職期間が10年を経過した公立高等学校教諭（悉皆）	
期 日	「平成31年度中堅教諭等資質向上研修の手引（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）」に示すとおり	
講 座 内 容	①中堅教諭等資質向上研修概要説明（説明） ②教育公務員の服務（公金の取扱いを含む）（講義・演習） ③ミドルリーダーに求められる指導力（講演） ④教員のメンタルヘルスについて（講義） ⑤生徒とのかかわりを考える～いじめ・不登校の未然防止について～（講義・演習） ⑥学校組織マネジメントについて（講義・演習） ⑦特別支援教育について（講義） ⑧情報セキュリティポリシーとICT機器の活用（講義・演習） ⑨教科別授業研究（実践発表の研究討議・授業評価の講義・模擬授業・模擬授業の研究討議）	
主 な 講 師	○教職員支援機構 上席フェロー 大杉昭英 ○東北中央病院 主任臨床心理士 古澤あや ○山形大学 教授 佐藤節子 ○岩手大学 准教授 佐々木全 ○学校教員、指導主事等	

番号・講座名	118	教職中長期経験者研修
ね ら い	在職期間が20年目となる教員を対象に、教員倫理の徹底、学習指導力の充実、教育実践上の課題解決力の向上及び専門性の研鑽を図る。	
受 講 対 象	平成12年度に山形県公立学校の教員として採用された教育公務員（再任用職員は除く）	
講 座 内 容	目的に合致するものとして自ら設定したテーマについて研修するものとし、その具体的な内容は当該テーマに沿って平成31年度中に行われる研修として以下の(a)～(e)から校長が認めたものとする。 (a) 校内研修 (b) 県教育委員会又は市町村教育委員会等が主催又は共催する研修会等 (c) 県教育センターが主催する研修で、対象として該当する専門研修 (d) 大学や企業等が企画した講義や公開講座等（免許状更新講習は除く） (e) 教育課題等の同一テーマに沿って話し合いを行うグループ研修	

番号・講座名	119	新規採用校長研修・学校経営研修
ね ら い	新規採用校長としての自覚とリーダーシップの涵養を図り、普遍的な教育課題とともに現代的な課題にも対応できる学校経営について研修を行う。	
受 講 対 象	小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の新規採用校長（悉皆）	
期 日	平成31年5月22日（水）～23日（木）	
講 座 内 容	①県教育長講話 ②特別支援教育について（講義） ③教育法規と事例研究（講義・演習） ④教員のメンタルヘルスについて（講義） ⑤学校経営基礎研修（服務規程を含む）（講義・演習） ⑥組織マネジメントについて（講義・演習・協議）	
主 な 講 師	○県教育長、県教育委員会顧問弁護士、臨床心理士等 ○現職校長、教育庁関係各課員	

番号・講座名	120	新規採用教頭研修・教員倫理研修
ね ら い	国および本県の教育施策や学校経営について理解を深めるとともに、解決が急務となっている教育課題並びに倫理観を高める教職員管理の在り方について研修を行い、教頭としての自覚と資質の向上を図る。	
受 講 対 象	小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の新規採用教頭（悉皆）	
期 日	【前期】平成31年5月21日（火） 【後期】平成31年8月28日（水）	
講 座 内 容	①本県教育の施策と課題（講話） ②公金管理と事務の適正な執行について（講義） ③教育法規及び教員倫理について（講義・演習） ④特別支援教育について（講義） ⑤職場のメンタルヘルス（講義） ⑥組織マネジメントと学校経営（講義・演習・グループ討議）	
主 な 講 師	○教育次長、教育庁総務課予算専門員、教職員課 課長補佐及び主任管理主事等 ○大学教員 ○各校種の現職校長	

番号・講座名	121	特別支援学級新担任基礎研修【A】
ね ら い	知的障がい特別支援学級の新担任を対象に、特別支援教育に関する基礎的知識、学習指導、学級経営等について学び、特別支援学級担任の意欲と指導力の向上を図る。	
受 講 対 象	①小学校・中学校・義務教育学校に勤務していた教員で、初めて特別支援学級を担当する教員、昨年度までの受講対象者で、受講を延期していた教員（講師、助教諭も含む）（悉皆） ※ 講師等で年度途中で勤務が終了する場合であっても、下記の期日に特別支援学級を担当している場合は、対象とする。 ②特別支援学校から小学校・中学校・義務教育学校へ転勤し、初めて特別支援学級担任になった教員で、特別支援学校の主たる障がい種と特別支援学級の障がい種が異なる場合（悉皆） （例：視覚障がい特別支援学校（山形盲学校）から、小学校・中学校・義務教育学校の「知的障がい特別支援学級」の担任になった場合） ③希望により受講できる要件 ・これまで担任経験のない障がい種の特別支援学級の担任になった場合 ・特別支援学校から小学校・中学校・義務教育学校へ転勤し、初めて特別支援学級担任になった場合	
期 日	平成31年5月30日（木）～31日（金）	
講 座 内 容	①障がいの理解と指導Ⅰ・Ⅱ（講義・演習） ②学校における合理的配慮（講義） ③学級経営Ⅰ（講義・演習） ④学級経営Ⅱ〔校種別分科会〕（講義・情報交換）	
主 な 講 師	○東北福祉大学 教授 大西孝志 ○学校教員、県教育センター指導主事	

番号・講座名	121	特別支援学級新担任基礎研修【B】
ね ら い	自閉症・情緒障がい、肢体不自由、病弱・身体虚弱、難聴及び弱視の特別支援学級の新担任を対象に、特別支援教育に関する基礎的知識、学習指導、学級経営等について学び、特別支援学級担任の意欲と指導力の向上を図る。	
受 講 対 象	①小学校・中学校・義務教育学校で勤務していた教員で、初めて特別支援学級を担当する教員、昨年度までの受講対象者で、受講を延期していた教員（講師、助教諭も含む）（悉皆） ※ 講師等で年度途中で勤務が終了する場合であっても、下記の期日に特別支援学級を担当している場合は、対象とする。 ②特別支援学校から小学校・中学校・義務教育学校へ転勤し、初めて特別支援学級担任になった教員で、特別支援学校の主たる障がい種と特別支援学級の障がい種が異なる場合（悉皆） （例：視覚障がい特別支援学校（山形盲学校）から、小学校・中学校・義務教育学校の「自閉症・情緒障がい特別支援学級」の担任になった場合） ③希望により受講できる要件 ・これまで担任経験のない障がい種の特別支援学級の担任になった場合 ・特別支援学校から小学校・中学校・義務教育学校へ転勤し、初めて特別支援学級担任になった場合	
期 日	平成31年6月5日（水）～6日（木）	
講 座 内 容	①特別支援学級の教育課程Ⅰ・Ⅱ（講義・演習） ②学校における合理的配慮（講義） ③学級経営〔障がい種別分科会〕（講義・情報交換） ④障がいの理解と指導〔障がい種別分科会〕（講義・演習）	
主 な 講 師	○学校教員、県教育センター指導主事	

番号・講座名	122	通級指導教室新担当教員基礎研修
ね ら い	通級指導教室（言語、LD、ADHD）の新担当教員を対象にして、特別支援教育に関する基礎的な知識や通級指導及び教室経営等について学び、担当としての意欲と指導力の向上を図る。	
受 講 対 象	①初めて通級指導教室（言語、LD、ADHD）を担当する教員、昨年度までの受講対象者で、受講を延期していた教員（講師、助教諭も含む）（悉皆） ※ 講師等で年度途中で勤務が終了する場合であっても、下記の期日に通級指導教室を担当している場合は、対象とする。 ②希望により受講できる要件 ・障がい種の異なる通級指導教室の担当になった場合	
期 日	平成31年5月22日（水）～5月23日（木）	
講 座 内 容	①通級指導教室の教室経営（講義・情報交換） ②障がいの理解と指導（講義・演習） ③通級指導教室の授業実践（講義・演習・情報交換） ※ 言語部会とLD、ADHD部会に分かれて実施する。	
主 な 講 師	○学校教員、指導主事	

番号・講座名	123	特別支援学校新任教員基礎研修
ね ら い	特別支援学校の新任教員を対象とし、特別支援学校における教育に係る基礎的事項の研修を通して、一人一人のニーズに応じた支援の在り方及び保護者や関係機関との連携の在り方について理解を深める。	
受 講 対 象	今年度初めて特別支援学校に勤務する教員、昨年度までの受講対象者で受講を延期していた教員（管理職、講師、助教諭は除く）（悉皆）	
期 日	平成31年4月23日（火）	
講 座 内 容	①特別支援学校における子供理解（講義・演習） ②特別支援学校における保護者との連携（講義） ③各受講者の課題と今後の取組みについて（協議）	
主 な 講 師	○元県立村山特別支援学校長 齋藤隆 ○特別支援学校教員 ○県教育センター特別支援教育課長	

1-2 教職2年次服務研修

受講申込み方法は、「V 受講手続き」をご覧ください。

※教職2年次フォローアップ研修対象者は、F01～F04の中から1つ選択し、必ず受講すること。

番号・講座名	F01	教職2年次服務研修【村山会場】
ね ら い	具体的な事例に基づいた講義・演習を通じて教育公務員の服務について学び、教員としての倫理観や責任感を高める。	
受講対象校種 条件等	教職2年次フォローアップ研修対象者（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）	
期 日	平成31年8月8日（木）	
会 場	県教育センター	
講 座 内 容	○教育公務員の服務（講義・演習）	
主 な 講 師	○教職員課 管理主事、指導主事等	
そ の 他	◇番号F01・F02・F03・F04の講座は、会場の違いのみで、同じ内容の研修を行う。	

番号・講座名	F02	教職2年次服務研修【最上会場】
ね ら い	具体的な事例に基づいた講義・演習を通じて教育公務員の服務について学び、教員としての倫理観や責任感を高める。	
受講対象校種 条件等	教職2年次フォローアップ研修対象者（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）	
期 日	平成31年9月24日（火）	
会 場	最上総合支庁	
講 座 内 容	○教育公務員の服務（講義・演習）	
主 な 講 師	○教職員課 管理主事、指導主事等	
そ の 他	◇番号F01・F02・F03・F04の講座は、会場の違いのみで、同じ内容の研修を行う。	

番号・講座名	F03	教職2年次服務研修【置賜会場】
ね ら い	具体的な事例に基づいた講義・演習を通じて教育公務員の服務について学び、教員としての倫理観や責任感を高める。	
受講対象校種 条件等	教職2年次フォローアップ研修対象者（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）	
期 日	平成31年8月9日（金）	
会 場	置賜総合支庁西置賜地域振興局	
講 座 内 容	○教育公務員の服務（講義・演習）	
主 な 講 師	○教職員課 管理主事、指導主事等	
そ の 他	◇番号F01・F02・F03・F04の講座は、会場の違いのみで、同じ内容の研修を行う。	

番号・講座名	F04	教職2年次服務研修【庄内会場】
ね ら い	具体的な事例に基づいた講義・演習を通じて教育公務員の服務について学び、教員としての倫理観や責任感を高める。	
受講対象校種 条件等	教職2年次フォローアップ研修対象者（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）	
期 日	平成31年7月5日（金）	
会 場	三川町公民館	
講 座 内 容	○教育公務員の服務（講義・演習）	
主 な 講 師	○教職員課 管理主事、指導主事等	
そ の 他	◇番号F01・F02・F03・F04の講座は、会場の違いのみで、同じ内容の研修を行う。	

1-3 フォローアップ研修専用選択講座

受講申込み方法は、「V 受講手続き」をご覧ください。

※教職2年次・3年次フォローアップ研修対象者のみ選択できます。

アフタヌーン講座（県教育センターを会場に講座を開講します。） 14:30～16:30

番号・講座名	F05A	探究のプロセスを重視した総合的な学習、総合的な探究の時間講座
ね ら い	単元づくりワークショップを通して、探究的な学習を展開していくイメージを高める。	
受 講 対 象	教職2年次・3年次フォローアップ研修対象者（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）	
期 日	平成31年9月19日（木）	
講 座 内 容	①総合的な学習、総合的な探究の時間における探究の過程（講義） ②探究的な学習を展開する単元づくりワークショップ（演習）	
主 な 講 師	〇県教育センター指導主事	

番号・講座名	F05B	ESD（持続可能な社会づくり）の授業づくり講座
ね ら い	持続可能な社会を目指そうとする能力・態度を育成するための授業やカリキュラムが実践されるよう、環境教育を中心としたESDプログラム作成のポイントや手法について学ぶ。	
受 講 対 象	教職2年次・3年次フォローアップ研修対象者（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）	
期 日	平成31年9月19日（木）	
講 座 内 容	①「山形県環境教育指針」をもとにしたESDの概論（講義） ②環境学習プログラムの実際（演習）	
主 な 講 師	ONPO 法人環境ネットやまがた 金澤裕子 〇県教育センター指導主事	

番号・講座名	F05C	ICT活用入門講座
ね ら い	よりわかる授業を実現するために、ICT機器の効果的な活用について学ぶ。	
受 講 対 象	教職2年次・3年次フォローアップ研修対象者（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）	
期 日	平成31年9月19日（木）	
講 座 内 容	①授業で有効なICT機器の使い方（講義・演習） ②ICT機器を活用した授業づくり（講義・演習）	
主 な 講 師	〇県教育センター指導主事	

番号・講座名	F06A	協調学習の授業づくり入門講座
ね ら い	探究型学習を推進するため、協働的な学びの一つである「協調学習」の基礎を学び、「知識構成型シグソー法」の授業体験をすることにより、児童生徒が主体的・協働的に学ぶ授業をつくるための実践的指導力の向上を図る。	
受 講 対 象	教職2年次・3年次フォローアップ研修対象者（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）	
期 日	平成31年10月8日（火）	
講 座 内 容	①協調学習の基礎となる考え方（講義） ②知識構成型シグソー法の授業体験（演習） ③探究型学習の单元の中に、知識構成型シグソー法の授業を組み込む際のポイント（講義）	
主 な 講 師	〇県教育センター指導主事	

番号・講座名	F06B	情報教育基礎講座
ね ら い	児童生徒の情報活用能力の向上を図るために、情報モラル教育の実践やICT機器等を活用するための基礎を学ぶ。	
受 講 対 象	教職2年次・3年次フォローアップ研修対象者（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）	
期 日	平成31年10月8日（火）	
講 座 内 容	①ICT機器等を活用した指導の在り方（講義） ②情報モラル教育の指導の在り方（講義・演習）	
主 な 講 師	〇県教育センター指導主事	

番号・講座名	F06C	ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり講座
ね ら い	すべての児童生徒がわかる喜びや学ぶ意義を実感できる授業づくりを目指し、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学級づくりや授業づくりについて学ぶ。	
受講対象校種 条件等	教職2年次・3年次フォローアップ研修対象者（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）	
期 日	平成31年10月8日（火）	
講 座 内 容	ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり（講義・演習）	
主 な 講 師	〇県教育センター指導主事	

2-1 専門研修 サテライト講座

受講申し込み方法は、「Ⅴ 受講手続き」をご覧ください。

※4地区を会場に講座を開講します。 14:00~16:30

番号・講座名	S01	保護者との連携を深めるための教育相談基礎講座【村山会場】
ね ら い	子供の課題解決に向けて、教師や学校が保護者と連携を深めるための働きかけについて考えるとともに、「保護者連携ハンドブック」を活用し、連携に不可欠な保護者の「納得」を引き出すための基礎スキルの習得を図る。	
受講対象校種 条件等	小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の教員	
期 日	平成31年10月4日（金）	
会 場	県教育センター	
講 座 内 容	保護者との連携を深めるための基礎スキルの習得（講義・演習）	
主 な 講 師	〇県教育センター指導主事	
そ の 他	◇番号S01・S03・S05・S07の講座は、会場の違いのみで、同じ内容の研修を行う。 ◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）として受講可能である。	

番号・講座名	S02	発達障がい基礎講座【村山会場】
ね ら い	発達障がいの特性の理解と基礎的な支援について学び、指導力の向上を図る。	
受講対象校種 条件等	小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の教員	
期 日	平成31年8月29日（木）	
会 場	県教育センター	
講 座 内 容	①発達障がいの理解と支援（講義・演習） ②2次的な障がいの予防と対応（講義）	
主 な 講 師	〇県教育センター指導主事	
そ の 他	◇番号S02・S04・S06・S08の講座は、会場の違いのみで、同じ内容の研修を行う。 ◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）として受講可能である。	

番号・講座名	S03	保護者との連携を深めるための教育相談基礎講座【最上会場】
ね ら い	子供の課題解決に向けて、教師や学校が保護者と連携を深めるための働きかけについて考えるとともに、「保護者連携ハンドブック」を活用し、連携に不可欠な保護者の「納得」を引き出すための基礎スキルの習得を図る。	
受講対象校種 条件等	小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の教員	
期 日	平成31年11月7日（木）	
会 場	最上総合支庁	
講 座 内 容	保護者との連携を深めるための基礎スキルの習得（講義・演習）	
主 な 講 師	〇県教育センター指導主事	
そ の 他	◇番号S01・S03・S05・S07の講座は、会場の違いのみで、同じ内容の研修を行う。 ◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）として受講可能である。	

番号・講座名	S04	発達障がい基礎講座【最上会場】
ね ら い	発達障がいの特性の理解と基礎的な支援について学び、指導力の向上を図る。	
受講対象校種 条件等	小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の教員	
期 日	平成31年10月15日（火）	
会 場	最上総合支庁	
講 座 内 容	①発達障がいの理解と支援（講義・演習） ②2次的障がいの予防と対応（講義）	
主 な 講 師	〇県教育センター指導主事	
そ の 他	◇番号S02・S04・S06・S08の講座は、会場の違いのみで、同じ内容の研修を行う。 ◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）として受講可能である。	

番号・講座名	S05	保護者との連携を深めるための教育相談基礎講座【置賜会場】
ね ら い	子供の課題解決に向けて、教師や学校が保護者と連携を深めるための働きかけについて考えるとともに、「保護者連携ハンドブック」を活用し、連携に不可欠な保護者の「納得」を引き出すための基礎スキルの習得を図る。	
受講対象校種 条件等	小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の教員	
期 日	平成31年11月13日（水）	
会 場	置賜総合支庁西置賜地域振興局	
講 座 内 容	保護者との連携を深めるための基礎スキルの習得（講義・演習）	
主 な 講 師	〇県教育センター指導主事	
そ の 他	◇番号S01・S03・S05・S07の講座は、会場の違いのみで、同じ内容の研修を行う。 ◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）として受講可能である。	

番号・講座名	S06	発達障がい基礎講座【置賜会場】
ね ら い	発達障がいの特性の理解と基礎的な支援について学び、指導力の向上を図る。	
受講対象校種 条件等	小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の教員	
期 日	平成31年9月17日（火）	
会 場	置賜総合支庁西置賜地域振興局	
講 座 内 容	①発達障がいの理解と支援（講義・演習） ②2次的障がいの予防と対応（講義）	
主 な 講 師	〇県教育センター指導主事	
そ の 他	◇番号S02・S04・S06・S08の講座は、会場の違いのみで、同じ内容の研修を行う。 ◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）として受講可能である。	

番号・講座名	S07	保護者との連携を深めるための教育相談基礎講座【庄内会場】
ね ら い	子供の課題解決に向けて、教師や学校が保護者と連携を深めるための働きかけについて考えるとともに、「保護者連携ハンドブック」を活用し、連携に不可欠な保護者の「納得」を引き出すための基礎スキルの習得を図る。	
受講対象校種 条件等	小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の教員	
期 日	平成31年10月11日（金）	
会 場	庄内総合支庁分庁舎	
講 座 内 容	保護者との連携を深めるための基礎スキルの習得（講義・演習）	
主 な 講 師	〇県教育センター指導主事	
そ の 他	◇番号S01・S03・S05・S07の講座は、会場の違いのみで、同じ内容の研修を行う。 ◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）として受講可能である。	

番号・講座名	S08	発達障がい基礎講座【庄内会場】
ね ら い	発達障がいの特性の理解と基礎的な支援について学び、指導力の向上を図る。	
受講対象校種 条件等	小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の教員	
期 日	平成31年9月26日（木）	
会 場	庄内総合支庁分庁舎	
講 座 内 容	①発達障がいの理解と支援（講義・演習） ②2次的障がいの予防と対応（講義）	
主 な 講 師	〇県教育センター指導主事	
そ の 他	◇番号S02・S04・S06・S08の講座は、会場の違いのみで、同じ内容の研修を行う。 ◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）として受講可能である。	

番号・講座名	201	探究型学習推進講座A ～カリキュラム・マネジメントの実際～
ね ら い	新しい時代に求められる資質・能力を育成するカリキュラム・マネジメントと探究型学習の在り方について理解を深める。	
受講対象校種 条件等	小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の教員	
期 日	平成31年6月26日（水）	
講 座 内 容	①カリキュラム・マネジメントの基本的な考え方とその進め方（講義・演習） ②探究型学習を推進するカリキュラム・マネジメントの実際（講義・演習）	
主 な 講 師	○国立教育政策研究所 教育課程調査官 渋谷一典 ○県教育センター指導主事	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）として受講可能である。	

番号・講座名	202B①	探究型学習推進講座B ～教科等における探究型学習の授業づくり～【生活科】
ね ら い	新学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童が主体的・協働的に取り組む生活科の授業づくりについて、講義、演習を通して実践的に学び、指導力の向上を図る。	
受講対象校種 条件等	小学校・義務教育学校・特別支援学校（小学部）の教員	
期 日	平成31年7月4日（木）	
講 座 内 容	①児童が主体的・協働的に取り組む生活科の授業づくりのポイント（講義） ②気付きの質を高める生活科の授業実践紹介・情報交換（研究協議） ③生活科の単元づくりワークショップ（演習）	
主 な 講 師	○山形大学 准教授 高野浩男 ○県教育センター指導主事、学校教員等	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・義務教育学校・特別支援学校（小学部））として受講可能である。	

番号・講座名	202B①	探究型学習推進講座B ～教科等における探究型学習の授業づくり～【英語（中・高）】
ね ら い	探究型学習の視点に立った指導法に関する講義・演習の機会を提供し、授業力の獲得や授業改善を支援する。また、学校での英語の授業における探究型学習を展開できる実践的指導力の向上を図る。	
受講対象校種 条件等	中学校・義務教育学校・特別支援学校（中学部、高等部）・高等学校で英語を担当する教員	
期 日	平成31年7月4日（木）	
講 座 内 容	①学習指導要領に基づく指導法の改善について（講義） ②探究型学習の視点に基づく英語の授業での指導方法について（講義・演習） ③教師の指導力向上について（講義・演習）	
主 な 講 師	○山形大学 准教授 小泉有紀子 ○県教育センター指導主事等	
そ の 他	◇教職2年次、3年次フォローアップ研修（中学校・義務教育学校・特別支援学校（中学部、高等部）・高等学校）として受講可能である。	

番号・講座名	202B①	探究型学習推進講座B ～教科等における探究型学習の授業づくり～【美術（中・高）】
ね ら い	学習指導要領の趣旨を踏まえ、〔共通事項〕を適切に位置づけた指導計画の工夫や、生徒が主体的・協働的に取り組む創造活動を通し、探究型学習について理解を深める。	
受講対象校種 条件等	中学校・義務教育学校・特別支援学校（中学部、高等部）・高等学校で美術を担当する教員	
期 日	平成31年7月4日（木）	
講 座 内 容	①これから求められる美術科の授業づくり（講義・演習） ②生徒が主体的・協働的に解決していく授業づくり（講義・演習）	
主 な 講 師	○東北芸術工科大学 准教授 吉田卓哉 ○県教育センター指導主事	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（中学校・義務教育学校・特別支援学校（中学部、高等部）・高等学校）として受講可能である。	

番号・講座名	202B②	探究型学習推進講座B ～教科等における探究型学習の授業づくり～②【理科（小）】
ね ら い	学習指導要領の趣旨を踏まえ、理科における探究型学習の理解を深めるとともに、児童の思考に寄り添った学びを展開できる実践的指導力の向上を図る。	
受講対象校種 条件等	小学校・義務教育学校・特別支援学校（小学部）の教員	
期 日	平成31年8月27日（火）	
講 座 内 容	①理科教育の課題と授業改善のポイント（講義・演習） ②理科における探究型学習の視点からの授業づくり（講義・演習）	
主 な 講 師	○県教育センター指導主事等	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・義務教育学校・特別支援学校（小学部））として受講可能である。	

番号・講座名	202B②	探究型学習推進講座B ～教科等における探究型学習の授業づくり～【音楽（小）】
ね ら い	新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導と評価の在り方について確認するとともに、授業の企画力、教材開発力及び実践的指導力の向上を図る。また、表現及び鑑賞の授業における具体的・実践的な講義・演習を通して、探究型学習の在り方について理解を深める。	
受講対象校種 条件等	小学校・義務教育学校・特別支援学校（小学部）の教員	
期 日	平成31年8月27日（火）	
講 座 内 容	①これから求められる音楽科の授業づくりについて（講義・演習） ②児童生徒が主体的・協働的に取り組む授業づくりのヒント（実習）	
主 な 講 師	○日本女子大学 名誉教授 坪能由紀子 ○県教育センター指導主事	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・義務教育学校・特別支援学校（小学部））として受講可能である。	

番号・講座名	202B②	探究型学習推進講座B ～教科等における探究型学習の授業づくり～【国語（中・高）】
ね ら い	中学校及び高等学校学習指導要領の趣旨を踏まえ、国語科における探究型学習について学び、対話的な学びの過程が実現できる授業づくり等について、実践的指導力の向上を図る。	
受講対象校種 条件等	中学校・義務教育学校・特別支援学校（中学部、高等部）・高等学校で国語を担当する教員	
期 日	平成31年8月27日（火）	
講 座 内 容	①「対話力」が高まる授業づくり ②学習指導要領の改訂をふまえた国語科の授業改善について	
主 な 講 師	○筑波大学 准教授 長田友紀 ○県教育センター指導主事	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（中学校・義務教育学校・特別支援学校（中学部、高等部）・高等学校）として受講可能である。	

番号・講座名	202B③	探究型学習推進講座B ～教科等における探究型学習の授業づくり～【社会、地歴・公民】
ね ら い	学習指導要領の趣旨を踏まえ、社会科、地歴・公民科における探究型学習について学ぶ。また、授業に生かすための講義、演習を通じて、授業の企画力、教材開発力及び実践的指導力の向上を図る。	
受講対象校種 条件等	小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校で社会科、地歴・公民科を担当する教員	
期 日	平成31年8月30日（金）	
講 座 内 容	①学習指導要領を踏まえ、社会科、地歴・公民科における探究型学習について学ぶ。（講義・演習） ②探究型学習を意識した授業づくり（演習）	
主 な 講 師	○日本体育大学 教授 猪瀬武則 ○県教育センター指導主事	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）として受講可能である。	

番号・講座名	202B③	探究型学習推進講座B ～教科等における探究型学習の授業づくり～【図画工作】
ね ら い	学修指導要領の趣旨を踏まえ、〔共通事項〕を適切に位置づけた指導計画の工夫や、児童が主体的・協働的に取り組む創造活動を通し、探究型学習について理解を深める。	
受講対象校種 条件等	小学校・義務教育学校・特別支援学校（小学部）の教員	
期 日	平成31年8月30日（金）	
講 座 内 容	①これから求められる図画工作科の授業づくり（講義・演習） ②児童が主体的・協働的に課題を解決していく授業づくり（講義・演習）	
主 な 講 師	○東北芸術工科大学 准教授 吉田卓哉 ○県教育センター指導主事	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・義務教育学校・特別支援学校（小学部））として受講可能である。	

番号・講座名	202B③	探究型学習推進講座B ～教科等における探究型学習の授業づくり～【数学（高）】
ね ら い	数学における探究型学習の視点を踏まえた授業づくりについて学び、実践的指導力の向上を図る。	
受講対象校種 条件等	特別支援学校（高等部）・高等学校で数学を担当する教員	
期 日	平成31年8月30日（金）	
講 座 内 容	探究型学習の視点を踏まえた授業実践について（講義） 数学における探究型学習の視点を踏まえた授業づくり（講義・演習）	
主 な 講 師	○山形大学 教授 皆川宏之 ○県教育センター指導主事	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（特別支援学校（高等部）・高等学校）として受講可能である。	

番号・講座名	202B④	探究型学習推進講座B ～教科等における探究型学習の授業づくり～【国語（小）】
ね ら い	小学校学習指導要領改訂の趣旨を踏まえ、探究型学習の視点からこれまでの国語の授業を見直し、具体的な改善の着眼点を見いだすとともに、対話的で深い学びの過程が実現できる授業づくり等について、実践的指導力の向上を図る。	
受講対象校種 条件等	小学校・義務教育学校・特別支援学校（小学部）の教員	
期 日	平成31年9月5日（木）	
講 座 内 容	①探究型学習の視点からの授業改善（講義） ②教科書の単元を探究型学習の視点でアレンジする（演習）	
主 な 講 師	○宮城教育大学 教授 児玉忠 ○県教育センター指導主事	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・義務教育学校・特別支援学校（小学部））として受講可能である。	

番号・講座名	202B④	探究型学習推進講座B ～教科等における探究型学習の授業づくり～【音楽（中・高）】
ね ら い	新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導と評価の在り方について確認するとともに、授業の企画力、教材開発力及び実践的指導力の向上を図る。また、表現及び鑑賞の授業における具体的・実践的な講義・演習を通して、探究型学習の在り方について理解を深める。	
受講対象校種 条件等	中学校・義務教育学校・特別支援学校（中学部、高等部）・高等学校で音楽を担当する教員	
期 日	平成31年9月5日（木）	
講 座 内 容	①これから求められる音楽科の授業づくりについて（講義・演習） ②生徒が主体的・協働的に取り組む授業づくりのヒント（講義・演習）	
主 な 講 師	○東京音楽大学 准教授 和田崇 ○県教育センター指導主事	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（中学校・義務教育学校・特別支援学校（中学部、高等部）・高等学校）として受講可能である。	

番号・講座名	202B④	探究型学習推進講座B ～教科等における探究型学習の授業づくり～【技術】
ね ら い	学習指導要領を踏まえた学習指導と評価の在り方について確認するとともに、技術（technology）を適切に評価し活用するために必要な指導力の向上を図る。また、生徒が主体的に協働的に課題解決していく探究型学習の在り方について理解を深める。	
受講対象校種 条件等	中学校・義務教育学校・特別支援学校（中学部）で技術を担当する教員	
期 日	平成31年9月5日（木）	
講 座 内 容	①技術分野の指導と評価（講義・演習） ②生徒が主体的・協働的に解決していく授業づくり（講義・実習） ③教材研究（講義・演習）	
主 な 講 師	〇県教育センター指導主事等	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（中学校・義務教育学校・特別支援学校（中学部））として受講可能である。	

番号・講座名	202B⑤	探究型学習推進講座B ～教科等における探究型学習の授業づくり～【家庭（小）】
ね ら い	学習指導要領を踏まえ、自立して生活を営むために必要な家庭科の基礎・基本の定着を目指して、実践的・体験的な学習活動を充実させるための教材研究を深める。また、生徒が主体的に協働的に課題解決していく探究型学習の在り方について理解を深める。	
受講対象校種 条件等	小学校・義務教育学校・特別支援学校（小学部）の教員	
期 日	平成31年10月23日（水）	
講 座 内 容	①家庭科教育の課題と授業改善のポイント（講義・演習） ②生活を豊かにするための布を用いた物の製作（講義・実習）	
主 な 講 師	〇県教育センター指導主事	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・義務教育学校・特別支援学校（小学部））として受講可能である。	

番号・講座名	202B⑤	探究型学習推進講座B ～教科等における探究型学習の授業づくり～【算数・数学（中）】
ね ら い	全国学力・学習状況調査の結果から算数・数学指導の課題を確認し、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、算数・数学における探究型学習の視点に沿った授業づくりについて学び、実践的指導力の向上を図る。	
受講対象校種 条件等	小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校（小学部、中学部）で算数・数学を担当する教員	
期 日	平成31年10月23日（水）	
講 座 内 容	①算数・数学指導の課題と授業改善のポイント（講義） ②算数・数学における探究型学習の視点に沿った授業づくり（講義・演習）	
主 な 講 師	〇国立教育政策研究所 学力調査官 佐藤寿仁 〇県教育センター指導主事	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校（小学部、中学部））として受講可能である。	

番号・講座名	202B⑤	探究型学習推進講座B ～教科等における探究型学習の授業づくり～ 【総合的な学習、総合的な探究の時間】
ね ら い	総合的な学習、総合的な探究の時間における探究の過程（課題の設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現）をイメージした学習の進め方や新学習指導要領について理解を深めるとともに、単元づくりの演習を通して、実践的指導力の向上を図る。	
受講対象校種 条件等	小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の教員	
期 日	平成31年10月23日（水）	
講 座 内 容	①探究の過程を大切にした総合的な学習、総合的な探究の時間の単元づくり・授業づくり（講義） ②探究的に学ぶ子供を育てる総合的な学習、総合的な探究の時間の授業の実践（実践紹介・研究協議） ③探究の過程を大切にした単元づくりワークショップ（演習）	
主 な 講 師	○山形大学 教授 野口徹	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）として受講可能である。	

番号・講座名	202B⑥	探究型学習推進講座B ～教科等における探究型学習の授業づくり～【理科（中・高）】
ね ら い	学習指導要領の趣旨を踏まえ、生徒が探究的に学ぶ授業づくりやそのための教材研究等の視点等を学び、実践的指導力の向上を図る。	
受講対象校種 条件等	中学校・義務教育学校・特別支援学校（中等部、高等部）・高等学校で理科を担当する教員	
期 日	平成31年10月25日（金）	
講 座 内 容	①学習指導要領の趣旨を踏まえた理科の授業づくり（講義） ②実験を通じた教材研究の視点（実験・演習） ③持ち寄った教材や学習指導案を基にした授業改善の視点（研究討議）	
主 な 講 師	○国立教育政策研究所 教育課程調査官 藤枝秀樹 ○県教育センター指導主事	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（中学校・義務教育学校・特別支援学校（中学部、高等部）・高等学校）として受講可能である。	

番号・講座名	202B⑥	探究型学習推進講座B ～教科等における探究型学習の授業づくり～【家庭（中・高）】
ね ら い	学習指導要領を踏まえ、自立して生活を営むために必要な家庭科の基礎・基本の定着を目指して、実践的・体験的な学習活動を充実させるための教材研究を深める。また、生徒が主体的に協働的に課題解決していく探究型学習の在り方について理解を深める。	
受講対象校種 条件等	中学校・義務教育学校・特別支援学校（中学部、高等部）・高等学校で家庭科を担当する教員	
期 日	平成31年10月25日（金）	
講 座 内 容	①家庭科教育の課題と授業改善のポイント（講義・演習） ②生徒が主体的・協働的に解決していく授業づくり（講義・実習）	
主 な 講 師	○山形大学 講師 石垣和恵 ○県教育センター指導主事	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（中学校・義務教育学校・特別支援学校（中学部、高等部）・高等学校）として受講可能である。	

番号・講座名	203	探究型学習推進講座C ～事例をもとにした探究型学習における評価の視点～
ね ら い	探究型学習を一層推進するため、「知識構成型ジグソー法」を一つの例として、その授業記録を基に、探究型学習における児童生徒の学びをいかに把握し、どのようにして次の授業への指針を得るかを理解し、探究型学習の授業づくりや単元づくりに関する実践的指導力の向上を図る。	
受講対象校種 条件等	小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の教員	
期 日	平成31年11月12日（火）	
講 座 内 容	①探究型学習における学びの質を上げるための学習評価（講義・演習） ②主体的・対話的で深い学びの質を支える授業研究（講義） ③子どもの学びのシミュレーションによる教材案検討（講義・研究討議）	
主 な 講 師	○東京大学 特任助教 飯窪真也 ○県教育センター指導主事	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）として受講可能である。	

番号・講座名	204	小学校外国語活動・外国語の授業づくり講座
ね ら い	新学習指導要領における小学校外国語教育の目標や内容について理解を深めるとともに、新教材を用いた授業づくりを通して実践的指導力の向上を図る。	
受講対象校種 条件等	小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校（小学部、中学部）の教員	
期 日	平成31年9月25日（水）	
講 座 内 容	①新学習指導要領における小学校外国語教育の目標や内容、言語活動を核とした授業づくりについて（講義・演習） ②新教材を用いた授業づくりワークショップ（講義・演習）	
主 な 講 師	○国際教養大学 准教授 町田智久 ○県教育センター指導主事	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校（小学部、中学部））として受講可能である。	

番号・講座名	205	授業づくりの基礎を学ぶ講座
ね ら い	理科、音楽、美術、技術・家庭を、免許外で担当している教員及び、免許を所有する指導経験の浅い教員を対象とし、教科のねらいや特性についての理解を深め、学習指導及び実技に関する研修を行い、実践的指導力の向上を図る。	
受講対象校種 条件等	中学校・義務教育学校・特別支援学校（中学部）の理科、音楽科、美術科、技術・家庭科のいずれかを、免許外で担当する教員及び、免許を所有して指導しているが経験の浅い教員	
期 日	平成31年5月14日（火）～15日（水）	
講 座 内 容	①理科のねらいと授業の進め方（講義・演習・実技） ②音楽科のねらいと授業の進め方（講義・演習・実技） ③美術科のねらいと授業の進め方（講義・演習・実技） ④技術・家庭科（技術分野）のねらいと授業の進め方（講義・演習・実技） ⑤技術・家庭科（家庭分野）のねらいと授業の進め方（講義・演習・実技）	
主 な 講 師	○学校教員、県教育センター指導主事	
そ の 他	◇免許外教科を担当する教員の他に、教科の基礎をあらためて学びたいという教員も対象としている。 ◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（中学校・義務教育学校・特別支援学校（中学部））として受講可能である。	

番号・講座名	206	実習教諭のための基礎実験講座（理科）
ね ら い	実習教諭（普通系）を対象として、理科に関する実験の演習や意見交流を通して、実験の準備や廃液処理等の基礎を学ぶとともに、実験技能の向上を図り、生徒実験を安全かつ円滑に行うための実践的指導力を養う。	
受講対象校種 条件等	高等学校で理科を担当する実習教諭	
期 日	平成31年7月10日（水）	
講 座 内 容	①安全な理科実験や適正な薬品管理の在り方（講義） ②実験・観察の技能向上のための基礎実験（実習） ③各学校における実験や実験準備等における工夫（意見交流）	
主 な 講 師	〇県教育センター指導主事	
そ の 他	◇実習教諭：学校教育法（昭和22年法律第26号）第60条第2項に規定する実習助手	

番号・講座名	207	「特別の教科 道徳」に求められる授業づくり講座
ね ら い	学習指導要領における道徳教育の基本的な在り方、道徳教育の要である「特別の教科 道徳」の充実に向けての研修を行い、これからの道徳の授業づくりのための実践的指導力の向上を図る。	
受講対象校種 条件等	小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校（小学部、中学部）の学級担任、道徳教育を推進する立場の教員	
期 日	平成31年9月6日（金）	
講 座 内 容	①今、求められる道徳教育及び道徳科の授業（講義） ②道徳の授業づくり演習（演習・講義）	
主 な 講 師	〇国立教育政策研究所 教育課程調査官 浅見哲也 〇県教育センター指導主事	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校（小学部、中学部））として受講可能である。	

番号・講座名	208	複式学級担任基礎講座
ね ら い	複式学級における学級経営・学習指導についての基本的な問題や当面する課題を捉え、その解決策を考えるとともに、学級経営・学習指導について研修を行い、実践的指導力の向上を図る。	
受講対象校種 条件等	小学校の複式学級担任等	
期 日	平成31年9月18日（水）	
講 座 内 容	①複式学級における学級経営・学習指導上のポイント（講義） ②複式学級における課題と解決の手立てについて（協議） ③複式学級における学級経営・学習指導の実際（講義） ④複式学級における授業づくりについて（演習・協議）	
主 な 講 師	〇複式学級経験教員 〇県教育センター指導主事	
そ の 他		

番号・講座名	209	通常の学級における特別支援教育講座
ね ら い	通常の学級の中で、支援が必要な児童生徒の理解と対応について、特別支援教育と生徒指導の側面から学び、実践的指導力の向上を図る。	
受講対象校種 条件等	小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の教員	
期 日	平成31年7月3日（水）	
講 座 内 容	①特別な支援が必要な児童生徒の理解と対応について（講義・演習） ②2次的な障がいの予防と対応（講義） ③進学や就労に向けた進路指導（講義） ④通常の学級における授業づくり・学級づくり（講義） ⑤校内体制と保護者との連携について（講義）	
主 な 講 師	OFR教育臨床研究所 所長 花輪敏男	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）として受講可能である。	

番号・講座名	210	特別支援学級における授業づくり講座
ね ら い	特別支援学級（知的障がい）の授業づくりのポイントと進め方、授業における教師の働きかけ方等について研修し、実践的指導力の向上を図る。	
受講対象校種 条件等	小学校・中学校・義務教育学校で特別支援学級（知的障がい）を担当する授業づくりについて基本から学びたい教員	
期 日	平成31年9月20日（金）	
講 座 内 容	特別支援学級の授業づくり（講義・演習）	
主 な 講 師	O東北福祉大学 准教授 辻誠一	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・中学校・義務教育学校）として受講可能である。 ◇13：30からの開催となります。	

番号・講座名	211	特別支援学校における授業力アップ講座
ね ら い	新学習指導要領を踏まえた知的障がい教育の授業の在り方と学習評価について研修し、実践的指導力の向上を図る。	
受講対象校種 条件等	特別支援学校の教員で知的障がい教育について専門性を高めたい教員	
期 日	平成31年9月13日（金）	
講 座 内 容	①新学習指導要領を踏まえた授業の在り方（講義） ②学習評価（観点別評価）を学習指導の改善に活かす（講義・演習）	
主 な 講 師	O国立特別支援教育総合研究所 主任研究員 村井敬太郎	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（特別支援学校）として受講可能である。 ◇13：30からの開催となります。	

番号・講座名	212	グループアプローチを活用した学級経営講座 ～いじめ・不登校未然防止のための親和的な学級集団づくり～
ね ら い	いじめや不登校の未然防止のために、親和的な学級集団づくりの理論と実際について学び、グループアプローチを体験しながら実践的指導力の向上を図る。	
受講対象校種 条件等	小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の教員	
期 日	平成31年7月2日（火）	
講 座 内 容	①親和的な学級集団づくりの理論と実際（講義） ②グループアプローチを活用した学級集団づくり（講義・演習）	
主 な 講 師	○会津大学 教授 刈間澤勇人	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）として受講可能である。	

番号・講座名	213	ICTを活用した授業づくり講座
ね ら い	ICTを活用して指導する技能を身に付け、これまでの授業にICT活用を加えることで、児童生徒にとってより「わかる授業」を展開する実践的指導力の向上を図る。	
受講対象校種 条件等	【前期】小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校の教員 【後期】高等学校の教員	
期 日	【前期】平成31年10月31日（木） 【後期】平成31年11月1日（金）	
講 座 内 容	①授業で有効なICT機器の使い方（講義・演習） ②ICT機器を活用した授業づくり（講義・演習）	
主 な 講 師	○県教育センター指導主事	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）として受講可能である。	

番号・講座名	214	小学校におけるプログラミング教育実践講座
ね ら い	プログラミング教育の意義や在り方を理解し、これからの時代に必要となる児童生徒の「プログラミング的思考」を高めるための指導方法等、各学校においてプログラミング教育を推進するためのリーダーを養成する。	
受講対象校種 条件等	小学校・義務教育学校・特別支援学校（小学部）の教員	
期 日	平成31年6月21日（金）	
講 座 内 容	①プログラミング教育の推進について（講義） ②小学校におけるプログラミング教育実践事例紹介（講義・演習） ③ビジュアルプログラミング言語ワークショップ（講義・演習）	
主 な 講 師	○青山学院大学 客員教授 阿部和広 ○学校教員、県教育センター指導主事	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・義務教育学校・特別支援学校（小学部））として受講可能である。	

番号・講座名	215	深い学びの基盤となる学習集団づくり講座 ～児童生徒の主体性・協働性を育む開発的教育相談のすすめ～
ね ら い	開発的教育相談の視点から、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの基盤をつくる教師の指導・援助のあり方について学び、学習集団づくりの実践的指導力の向上を図る。	
受講対象校種 条件等	小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の教員	
期 日	平成31年10月24日（木）	
講 座 内 容	①主体的・対話的で深い学びにつながる学級づくり－ひらめき体験教室－（講義・演習） ②主体的・対話的で深い学びにつながる授業づくりのヒント－子どもの言葉で問いを創る授業－（講義・演習）	
主 な 講 師	〇立正大学 教授 鹿嶋真弓	
そ の 他	◇教職2年次・3年次フォローアップ研修（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校）として受講可能である。	

番号・講座名	216	チームリーダーのためのファシリテーション基礎講座
ね ら い	ファシリテーションについての講義・演習を通して、チームリーダーとして円滑な組織運営のためのスキル向上を図る。	
受講対象校種 条件等	小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の教員	
期 日	平成31年9月27日（金）	
講 座 内 容	①ファシリテーションの基礎（講義・演習） ②効果的・効率的な話し合いの技術～ファシリテーション力を高める～（講義・演習）	
主 な 講 師	ONPO 法人日本ファシリテーション協会 フェロー 徳田太郎	
そ の 他		

番号・講座名	217	管理職のための危機対応講座
ね ら い	【前期】 管理職（校長・副校長・教頭）を対象に、いじめ防止、保護者対応等に関する講義・演習を通し、実践的危機管理運営力を養う。 【後期】 管理職（校長・副校長・教頭）を対象に、メディア対応に関する講義・演習を通し、平常時と緊急時に必要な実践的危機管理運営力を養う。	
受講対象校種 条件等	小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の管理職（校長・副校長・教頭）	
期 日	【前期】 平成31年6月25日（火） 【後期】 平成31年9月26日（木）	
講 座 内 容	【前期】 ①生徒指導と危機管理（講義） ②保護者からの要求や意見等への対応法（講義・演習） 【後期】 ①平常時の危機管理とメディア対応（講義・演習） ②緊急記者会見対応と記者取材対応のポイント（講義・演習）	
主 な 講 師	【前期】 ○九段富士見法律事務所 弁護士 堀切忠和 ○日本教育カウンセラー協会 理事 前川章 【後期】 ○学識経験者	
そ の 他	◇前期・後期のいずれか一方だけの受講も可能である。	

番号・講座名	218	学校運営基礎講座
ね ら い	最新のカリキュラム・マネジメントと校務運営に必要な法的根拠を学び、校務運営に携わる教員のマネジメント能力の向上と教員倫理観の醸成を図る。	
受講対象校種 条件等	小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の校務を中心となって推進する立場の教諭	
期 日	平成31年7月11日（木）	
講 座 内 容	①カリキュラム・マネジメント（講義・演習） ②校務運営上の法的根拠（講義・演習）	
主 な 講 師	○放送大学 教授 田中統治 ○教育庁教職員課 管理主事等	
そ の 他		

番号・講座名	219	学校マネジメント講座
ね ら い	これからの時代に必要とされる管理職の資質・能力や学校組織マネジメントについて研修し、自校の課題に適切に対応するとともに次代を担う人材育成を行い、保護者及び地域から信頼される学校経営を実践するために必要な力量の向上を図る。	
受講対象校種 条件等	小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の校長・副校長・教頭	
期 日	平成31年10月2日（水）	
講 座 内 容	①学校組織マネジメントの考え方と進め方（講義・演習） ②学校組織マネジメントの実践（講義・演習）	
主 な 講 師	○兵庫教育大学 教授 浅野良一	
そ の 他		

3 出前サポート

受講申し込み方法は、「Ⅴ 受講手続き」をご覧ください。

※毎週月曜日は、県教育センター所内研修日のため、指導主事等を派遣できません。予めご了解いただき、お申し込みください。

※県教育センターで研修講座が行われる場合、指導主事の派遣が難しい場合があります。県教育センターのWebページで年間運営計画を確認の上、お申し込みください。

※日程調整及び準備等の関係から、実施日の約1ヶ月前までに申込みの手続きをしてください。
(問い合わせ窓口は、研修課主任指導主事となります。)

番号・名称	301	校内研究・研修支援【教科領域】
ねらい	校内研究や校内研修、各教育研究会等の活動を支援する。	
対象校種	小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校、高等学校	
内容例	・研究授業等の参観、事後研究会における指導助言 ・校内研修会における指導助言 ・その他教職員研修に関する指導、助言等	

番号・名称	302	校内研究・研修支援【教育課題】
ねらい	校内研究や校内研修、各教育研究会等の活動を支援する。	
対象校種	小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校、高等学校	
内容例	① 環境教育	・県環境教育指針を生かした授業づくり（講義・演習） ・参加体験型学習の手法（演習）
	② 探究型学習	・探究型学習の充実（講義・演習） ・協同学習（知識構成型ジグソー法）について（講義・演習） ・山形県学力等調査の結果を生かした授業づくり（講義・演習）
	③ 情報教育	・教育の情報化について（講義・演習） ・情報モラル教育の具体的な指導について（講義・演習） ・小学校プログラミング教育について（講義・演習） ・ICTを活用した授業づくりについて（講義・演習）
	④ いじめ防止対策	・いじめの早期発見・早期対応について（講義・演習） ・いじめ未然防止のためのグループアプローチについて（講義・演習）
	⑤ 特別支援教育	・特別支援学級の教育課程、学級経営・授業づくり（講義・情報交換・演習） ・発達障がいにかかわる理解と支援（講義・演習） ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり（講義・演習）
	⑥ 教育相談	・保護者との信頼関係づくりについて（講義・演習） ・教育相談体制の充実について（講義・演習）

①～⑥の「内容例」はあくまで例示したものであり、すべての内容を網羅した講座ではありません。事前にご相談ください。

※ 教育委員会が指導主事の派遣を希望する場合には、事前の相談をお願いします。

V 受講手続き

受講手続きは、すべて電子申請システムにて行います。

受講申込みは、平成31年3月8日付け 山教361号で依頼しました「**県教育センター研修講座の受講申込みについて**」に掲載されてある『**申込み【ID】【パスワード】**』をお使いいただき、県教育センターWebページから受講申込みを行ってください。操作の詳細は、「VI 電子申請システム操作マニュアル（P48～）」をご覧ください。

1 受講申込みから受講後までの流れ

基本研修（初任者研修・経験者研修・管理職研修）

幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校等

該当校及び該当者に別途送付される研修の手引または実施要項をご覧ください。

基本研修（特別支援教育研修）

専門研修（授業づくりの基礎を学ぶ講座）

●**申込み開始 4月1日（月）『申込み【ID】【パスワード】』**をお使いいただき、県教育センターWebページから研修講座受講申込みを行ってください。

4月5日（金）入力完了

＝**基本研修＝** 該当者がいる場合のみ、必ず申し込んでください

121 特別支援学級新担任基礎研修

122 通級指導教室新担当教員基礎研修

123 特別支援学校新任教員基礎研修

＝**専門研修＝** 受講希望者を入力してください

205 授業づくりの基礎を学ぶ講座

★電子申請システムによる入力後、申込み完了通知メールが自動返信されます。

★数日後、（仮）受講者決定通知が送信されます。

県教育センター所長が「受講該当者名簿」「受講希望者名簿」により受講者を決定

＝各学校＝

講座実施日約1ヶ月前

実施通知・実施要項の送付

☆ 関係文書のダウンロード可能のお知らせメールが届きます。

＊ 電子申請システムから関係文書をダウンロードしてください。

＊ 受講者の決定通知を兼ねます。

＝各教育事務所＝

＝各市町村教育委員会＝

4月12日（金）

受講者名簿の送付

＊ 各教育事務所を通じて、市町村教育委員会に、電子メールで受講該当者名簿、及び受講希望者名簿を送付します。

講座実施日約1ヶ月前

実施要項等の送付

＊ 教育事務所、市町村教育委員会に、電子メールで実施要項、受講者名簿を送付します。

講座実施日7日前（ただし、土日、祝日を含めない日数）まで

「昼食及び宿泊の申込み書」（様式3 実施要項に添付されたもの、または、県教育センターWebページよりダウンロード）に必要事項を記入し、FAXで送付（023-654-2159）

講座当日 「受講アンケート：基本研修」「振り返りシートA（還元計画）：専門研修」を提出

帰校後（講座の指定期日） 「振り返りシートB（還元成果）：専門研修」を提出

基本研修（教職2年次服務研修・フォローアップ研修専用選択講座【アフタヌーン講座】）
専門研修（授業づくりの基礎を学ぶ講座を除く）

- **申込み開始 4月1日（月）『申込み【ID】【パスワード】』をお使いいただき、県教育センターWebページから研修講座受講申込みを行ってください。**

5月10日（金）入力完了

＝教職2年次服務研修＝

- * 2年次フォローアップ研修対象者は、希望する会場を1つ選択し、**必ず**申し込んでください。

＝フォローアップ研修専用選択講座 アフタヌーン講座＝

- * 受講希望者を入力してください。ただし、2年次・3年次フォローアップ研修対象者のみ受講できます。

＝専門研修及びサテライト講座＝

- * 受講希望者を入力してください。

★電子申請システムによる入力後、申込み完了通知メールが自動返信されます。

★数日後、（仮）受講者決定通知が送信されます。

県教育センター所長が「受講希望者名簿」により受講者を決定

＝各学校＝

講座実施日約1ヶ月前

実施通知・実施要項の送付

☆ 関係文書のダウンロード可能のお知らせメールが届きます。

- * 電子申請システムから関係文書をダウンロードしてください。
- * 受講者の決定通知を兼ねます。

＝各教育事務所＝

＝各市町村教育委員会＝

5月17日（金）

受講者名簿の送付

- * 各教育事務所を通じて、市町村教育委員会に、電子メールで受講希望者名簿を送付します。

講座実施日約1ヶ月前

実施要項等の送付

- * 教育事務所、市町村教育委員会に、電子メールで実施要項、受講者名簿を送付します。

講座実施日7日前（ただし、土日、祝日を含めない日数）まで

「昼食及び宿泊の申込み」（様式3 実施要項に添付されたもの、または、県教育センターWebページよりダウンロード）に必要な事項を記入し、FAXで送付（023-654-2159）

講座当日 「受講アンケート：基本研修」「振り返りシートA（還元計画）：専門研修」を提出

帰校後（講座の指定期日） 「振り返りシートB（還元成果）：専門研修」を提出

教職2年次・3年次フォローアップ研修として受講を希望する場合は、“2年次研”または“3年次研”の入力を忘れずに行ってください。

- ☆ 受講申込み締め切り後も、定員に余裕のある場合は、講座実施14日前まで、追加の申込みが可能です。希望のある方は、各学校の研修担当（教頭等）を通じ、お問い合わせください。

【問い合わせ先：県教育センター研修課研修担当（023-654-2155）】

※追加の申込みは、必ず、お問い合わせののち行ってください。

出前サポート

小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校等

1 申込み 4月9日（火）より随時（実施日の約1ヶ月前まで）

「出前サポート申込書」（様式1）を県教育センターに電子メールで送付してください。
（県教育センターWebページからダウンロードできます。）

県教育センターE-mail（kyose-demae@pref.yamagata.jp） ※出前サポート専用アドレス

2 申込みに対する当該校等への連絡

県教育センターで日程を調整し、実施の可否を決定し、該当校等へ連絡します。

＊ 原則、電子メールで通知します。

3 派遣依頼書の提出（当該校への連絡後、速やかに県教育センターに提出）

「出前サポート派遣依頼書」（様式2）を県教育センターに電子メールで送付してください。
（県教育センターWebページからダウンロードできます。）

県教育センターE-mail（kyose-demae@pref.yamagata.jp） ※出前サポート専用アドレス

出前サポート当日

出前サポートを受講

- ＊ 毎週月曜日は、県教育センター所内研修日のため、派遣できません。
- ＊ 出前サポートの申込みは、年間を通して受け付けております。ただし、県教育センター主管の研修実施日は指導主事を派遣できないことがありますので、Webページ上において年間運営計画を確認の上、お申し込みください。
- ＊ 日程調整及び準備等の関係から、実施日の約1ヶ月前までに申込み手続きをしてください。
- ＊ 調整に時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。
- ＊ 問い合わせ窓口は、研修課主任指導主事となります。事前に指導主事等との日程調整はできません。
- ＊ 市町村教育委員会が指導主事の派遣を希望する場合には、事前の相談をお願いします。

2 受講に係る旅費

(1) 基本研修・専門研修

<市町村立小学校・中学校・義務教育学校教員>

- ① 受講に係る旅費は、教育事務所に担当替します。

(県教育センター別枠予算差引の支出)

- ② 宿泊料支給対象者(勤務先、居住地とも村山教育事務所管外)は宿泊することを原則とし、県教育センター宿泊所の宿泊料を支給します。なお、宿泊対象者が県教育センター宿泊所に宿泊しない場合の旅費も、一往復の交通費に県教育センター宿泊所の宿泊料を加えた金額を上限とします。

<県立中学校・県立特別支援学校・県立高等学校教員>

- ① 受講に係る旅費は、所属校に担当替します。

- ② 宿泊料支給対象者(勤務先、居住地とも村山教育事務所管外)は宿泊することを原則とし、県教育センター宿泊所の宿泊料を支給します。なお、宿泊対象者が県教育センター宿泊所に宿泊しない場合の旅費も、一往復の交通費に県教育センター宿泊所の宿泊料を加えた金額を上限とします。

<市立高等学校教員>

受講に係る旅費及び宿泊料は、所管の市教育委員会に申請してください。

(2) 出前サポート

<全校種>

受講及び聴講のための旅費は、所属(小学校・中学校・義務教育学校は、学校一般旅費)、または個人の負担になります。

3 昼食及び宿泊の申込み

県教育センターで行われる研修講座を受講する場合、所定の手続きにより食堂や宿泊所を利用することができます。なお、宿泊対象者は指定されています。

(1) 申込み方法

- ① 別紙申込書(様式3)により、講座実施日7日前(ただし、土日、祝日を含めない日数)までFAX(送り状不要)で申込みください。講座当日の申込みはできません。
- ② 昼食代(1食340円)、宿泊料(夕食代:570円、朝食代:230円、クリーニング代:200円)は、講座当日受付時にお支払いください。

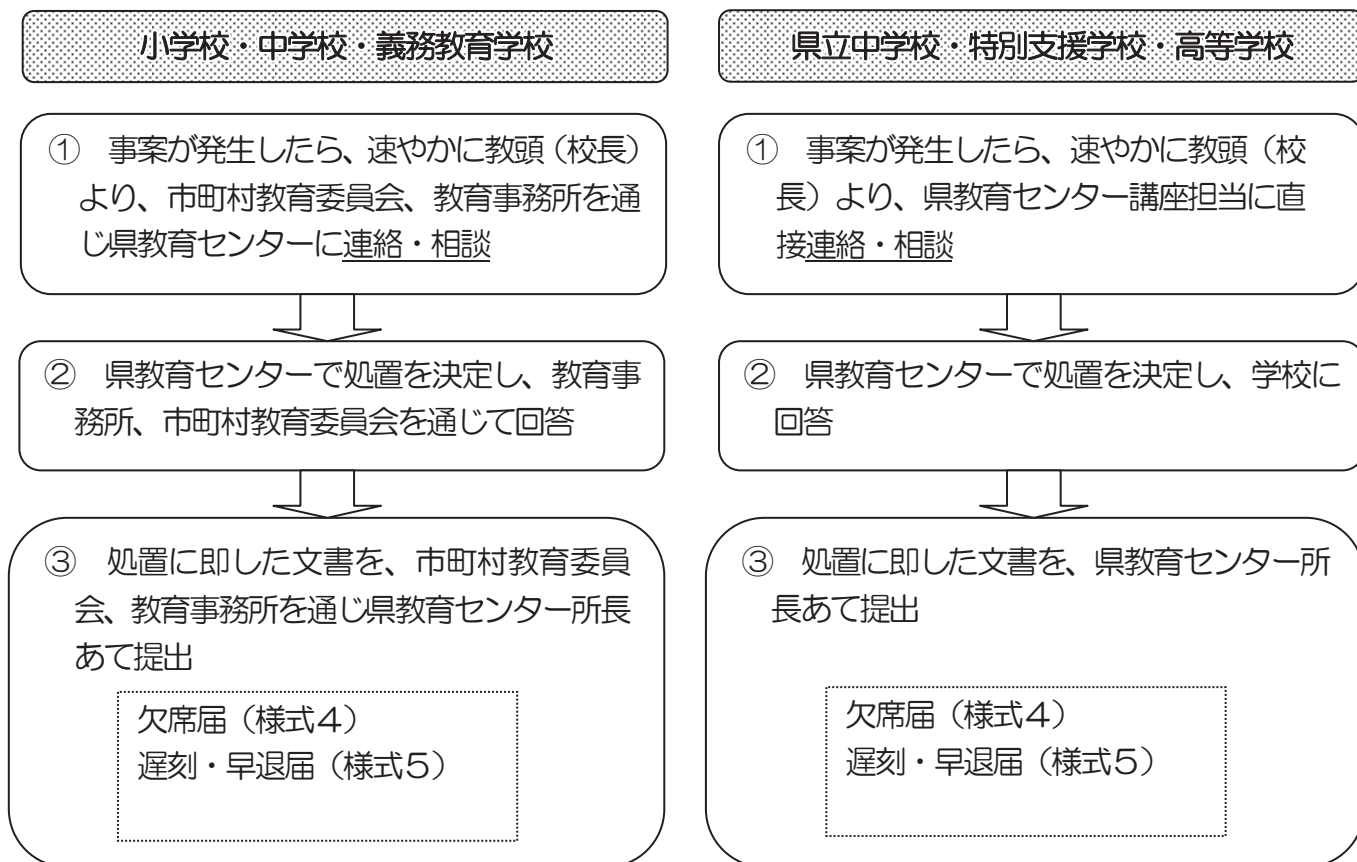
(2) その他

- ① 宿泊できる期間は、研修期間とします。原則として前泊及び後泊することはできません。
- ② 申込み後、変更のある場合は、講座実施日3日前(土日、祝日を含めない日数)まで県教育センター総務課に必ず連絡してください。それ以降は変更できませんのでご注意ください。
- ③ 電話での申込みは受け付けておりません。また、申込み受理の返事はいりません。

4 欠席、遅刻・早退

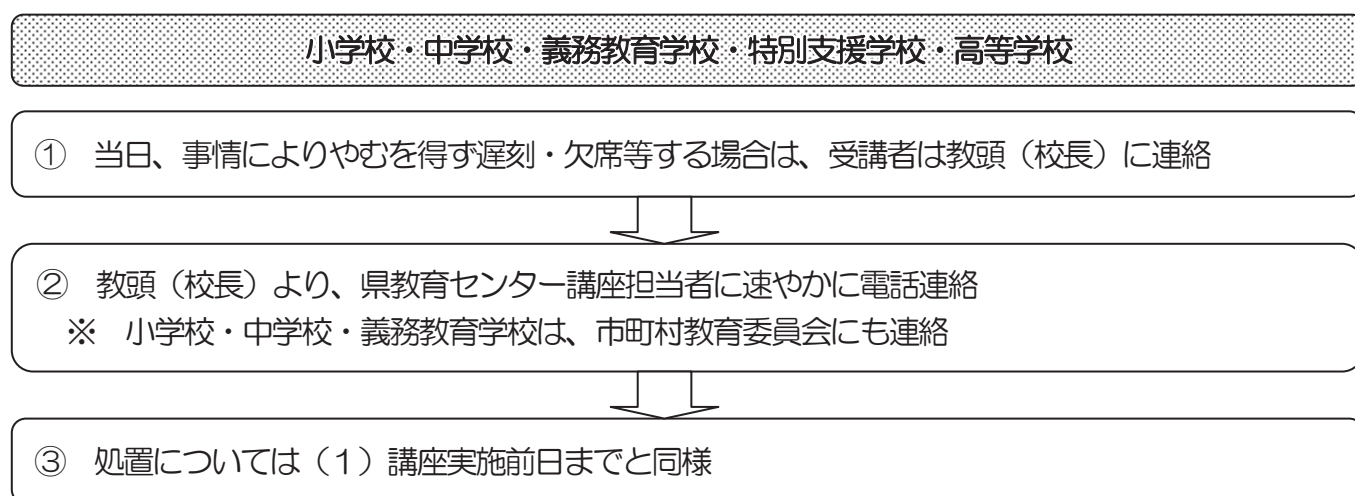
受講者が決定した後、事情により欠席、遅刻・早退する場合は、次の手続きをしてください。

(1) 講座実施前日まで



※ 山形市立の小・中学校は、教育事務所を通さずに手続きを進めてください。

(2) 講座実施当日



Ⅵ 電子申請システム操作マニュアル

1 手続きの流れについて

電子申請システムの手続きの流れをご覧いただき、学校の実態に合う方法をお選びください。

※ 以下はあくまで概要ですので、手続きの詳細は次頁以降をご覧ください。

備考	「利用者登録」を行って申し込む	「利用者登録せず」に申し込む	備考
----	-----------------	----------------	----

☆利用者登録

登録した者が「担当者」となる。	1 センターWeb ページから電子申請システムトップページへ 2 「利用者登録」から、以下を設定 【利用者情報】 【利用者 ID：メールアドレス】 【パスワード：自分で設定】		
-----------------	---	--	--

☆受講申込みの準備

電子申請システムへのログインが必要なため、担当者が入力することになる。	1 センターWeb ページから「研修講座一覧はこちら」をクリック 2 『申込み【ID】【パスワード】』を入力 ★平成31年3月8日付け 山教第361号で依頼済み 3 希望する研修講座名をクリック 4 【利用者情報】 を入力して受講申込み入力様式へ	→ 『申込み【ID】【パスワード】』をお使いになれば、担当者以外でも受講申込み可能。 4 「利用者登録せずに申し込む」をクリック 5 アドレスの入力メール返信 6 返信メールの URL をクリックして、受講申込み入力様式へ
-------------------------------------	--	--

☆受講申込みの入力

	1 受講申込みの詳細を入力 2 申込み完了通知メール（1 回目のメール）が送信される。 【整理番号】【パスワード】 が記載される。	
--	--	--

☆「(仮) 受講者決定のメール」(2 回目のメール)

☆「研修講座実施の通知、及び実施要項等の送付についてのメール」(3 回目のメール) の送信

○担当者のアドレスに送信	○受講申込み者のアドレスに送信
--------------	-----------------

☆関係文書のダウンロード

担当者電子申請システムにログインすると、申込研修講座が一覧で表示され、一目で把握できる。	1 電子申請システムトップページの「ログイン」をクリックし、 【利用者情報】 を入力 2 電子申請システムトップページに戻り、「申込内容照会」をクリック 3 申し込んだ研修講座の一覧が表示される。 4 該当の研修講座名をクリックしダウンロードする。	→ 「整理番号」「パスワード」を利用すれば、担当者以外でもダウンロード可能。 1 電子申請システムトップページの「申込内容照会」をクリック 2 【整理番号】【パスワード】※ を入力 3 表示された該当の講座名をクリックし、ダウンロードする。
--	--	--

※ 「利用者登録」を行った場合でも、電子申請システムにログインせずに**【整理番号】【パスワード】**を利用してダウンロードすることもできます。

2 手続き方法を選ぶ

A～Cのうち、手続き方法を1つ選びます。

A 「利用者登録」を行って申し込む ⇒ P50「3 利用者登録」にお進みください。

=注意=

「利用者登録」は、学校ごと取りまとめて手続きをするために行うものですので、校内の担当者（管理職等）を決めて、その方が「利用者登録」を行うようにしてください。

＜利便性＞

- ・ 申し込んだ研修講座を一覧で閲覧できます。
- ・ 手続きに関わるメールが担当者に一本化され、把握が容易になります。
- ・ 受講申込み以降の手続きを受講者本人が行うようにすることも可能であり、担当者の負担を軽減することもできます。

＜配慮事項＞

- ・ 窓口となる担当者が1人になるため、受講申込み以降の手続きを受講者本人が行うなど、負担にならない工夫をお願いします。
- ・ 『申込み【ID】【パスワード】』と「利用者登録」した【利用者ID】【パスワード】が混同する恐れがありますので御注意ください。

B 「利用者登録せず」に申し込む ⇒ P54「4 受講申込み」にお進みください。

＜利便性＞

- ・ 『申込み【ID】【パスワード】』をお使いになれば、受講者自身が手続きをすることができます。
- ・ 手続きの手順が少なく、簡易的です。

＜配慮事項＞

- ・ 校内で受講申込みを行った研修講座を一覧で閲覧できないため、受講者の把握漏れのないように御注意ください。
- ・ 手続きの一切が受講申込みをした方の責任になるため、確実な処理をお願いします。
- ・ 受講申込みの際は、管理職と御相談の上、お申し込みください。

C 昨年度「利用者登録」した【利用者ID】【パスワード】を継続利用して申し込む

⇒ P54「4 受講申込み」にお進みください。

※ A及びBをお選びいただく場合、昨年度「利用者登録」した【利用者ID】【パスワード】が削除されてある、もしくは、「利用者登録」が未設定である必要があります。

3 利用者登録

A 「利用者登録」を行って申し込む を選んだ方はここから

= 注意 =

「利用者登録」は、学校ごと取りまとめて手続きをするために行うものですので、校内の担当者（管理職等）を決めて、その方が「利用者登録」を行うようにしてください。

- 1 下記の URL より、県教育センターWeb ページを開きます。

<http://www.yamagata-c.ed.jp/>

- 2 「研修講座申込み」をクリックします。



- 3 「電子申請システムトップはこちら」をクリックします。

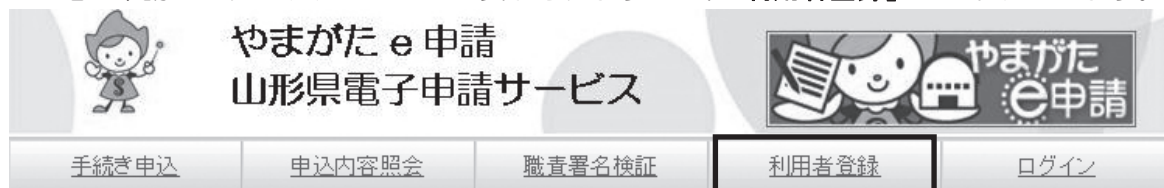
● 研修講座申込み

○ **電子申請システムトップはこちら**

○ 平成31年度 研修講座一覧はこちら

※ 研修講座一覧をクリック後、ログインIDとパスワードを入力する画面に進まない場合は、右上のログインをクリックし、ログインIDとパスワードを入力してください。その後、関係者限定メニュー内の研修講座一覧へお進みください。

- 4 電子申請システムトップページが表示されますので、「利用者登録」をクリックします。



5 「同意する」をクリックします。

利用者管理

利用者登録説明

下記の内容を必ずお読みください。

利用者情報を登録した場合、以後の手続きに際し、利用者としてログインできます。
また登録した情報も、それぞれの手続きにおいて利用できるため、入力が簡素化されます。
繰り返し本サービスをご利用される場合は、利用者情報の登録をお勧めします。

利用者が一定期間(730日)ログインしていない場合、登録情報すべてを削除いたします。

<利用規約>

山形県及び山形県内全市町村（以下、「県及び県内市町村」という。）が共同で運営する『山形県 県・市町村電子申請サービス「やまがたe申請」』（以下、「やまがたe申請」という。）を利用され、インターネットを通じて県及び県内市町村に申請・届出・施設予約等を行っていただくには、『山形県 県・市町村電子申請サービス「やまがたe申請」利用規約』（以下、「規約」という。）に同意いただくことが必要です。

「やまがたe申請」を利用された方は、規約に同意したものとみなします。また何らかの理由により、規約に同意したくない場合は、「やまがたe申請」のご利用をお断りいたします。

1 目的

この規約は、「やまがたe申請」を利用する場合に必要な事項について定めています。

2 用語の定義

規約は、「やまがたe申請」を利用する場合に必要な事項について定めています。

(1) 電子申請

インターネットを利用して申請・届出・施設予約等の手続を行うことをいいます。

(2) 「やまがたe申請」

「同意する」ボタンをクリックすることにより、この説明に同意したものとみなします。

登録した情報は当サービス内でのみ利用するものであり、他への転用・開示は一切行いません。

上記をご理解いただけましたら、同意して進んでください。

同意する

6 利用者区分は「個人」を選択し、【利用者ID】（メールアドレス）を入力し、「登録」をクリックします。

利用者管理

メールアドレス入力(利用者登録)

連絡がとれるメールアドレスを入力してください。

登録いただいたメールはそのまま利用者IDとなります。

入力が完了いたしましたら、アドレスに申込画面のURLを記載したメールを送信します。

URLにアクセスし、残りの情報を入力して登録を完了させてください。

また、迷惑メール対策等を行っている場合には、「pref-yamagata@s-kantan.com」からのメール受信が可能な設定に変更してください。

上記の対策を行っても、申込画面のURLを記載したメールが返信されて来ない場合には、別のメールアドレスを使用して申込を行ってください。

なお、送信元のメールアドレスに返信しても問い合わせには対応できません。

最後に、携帯電話のメールでは、初期設定でURLリンク付きメールを拒否する設定をされている場合がございますので、その場合も同様にメール受信が可能な設定に変更してください。

※印があるものは必須です。

利用者区分※

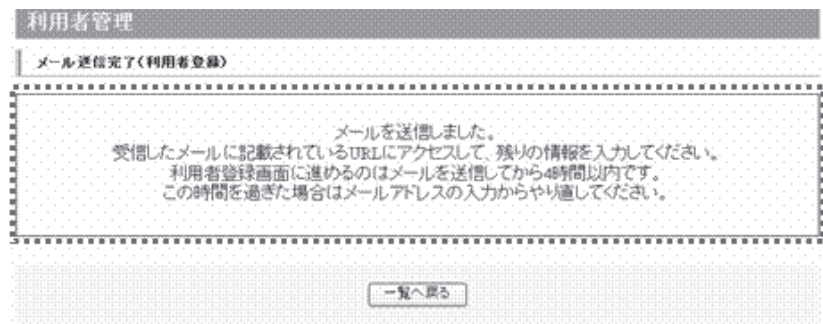
☒ 個人 ☐ 法人 ☐ 代理人

利用者ID(メールアドレス)※

利用者ID(確認用)※

登録する

7 「6」で入力したメールアドレスへ、URL を記載したメールが送信されます。



8 メールを開き、記載された「URL」をクリックします。

◆パソコン、スマートフォンはこちらから
<https://www.sas-kai.co.jp/prof-vanagata-k/profile/input/display?action=userIdfromivayui@pref.vanagata.jp&id=151295570133&code=00100114070121001112-0600712>

◆携帯電話(スマートフォンは除く)はこちらから
<https://www.sas-kai.co.jp/prof-vanagata-k/profile/input/display?action=userIdfromivayui@pref.vanagata.jp&id=151295570133&code=001001140600370671008710080451011d>



9 「利用者登録画面」が表示されますので、必要な項目を入力し「確認へ進む」をクリックします。



※ 設定した【利用者 ID】(メールアドレス)、【パスワード】の記入欄です。お使いください。

【利用者 ID】(メールアドレス)：()
【パスワード】：()

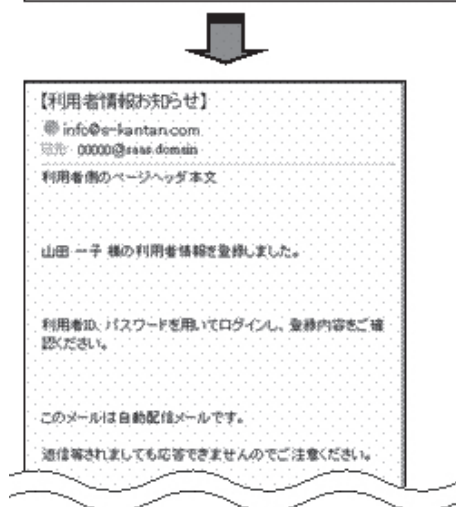
10 内容を確認し、「登録する」をクリックします。

利用者区分	個人
利用者ID	00000@saas.domain
氏(フリガナ)	ヤマダ
名(フリガナ)	イチコ
氏	山田
名	一子
性別	女性
郵便番号	1111111
住所	xxxx区xxx町1-111
電話番号1	09000000000
電話番号2	
メールアドレス1	00000@saas.domain
メールアドレス2	

11 登録したメールアドレスへ「利用者情報お知らせメール」が送られます。

利用者: 山田 一子 さまを登録しました。

一覧へ戻る



12 「利用者登録」完了です。引き続き、【4 受講申込み】(P54) へお進みください。

4 受講申込み

B 「利用者登録」せずに申し込む

C 昨年度「利用者登録」した【利用者ID】【パスワード】を継続利用して申し込む

を選んだ方はここから

1 下記の URL より、県教育センターWeb ページを開きます。

<http://www.yamagata-c.ed.jp/>

2 「研修講座申込み」をクリックします。



3 「平成31年度 研修講座一覧はこちら」をクリックします。

☒ 研修講座申込み

☐ 電子申請システムトップはこちら

☒ 平成31年度 研修講座一覧はこちら

※ 研修講座一覧をクリック後、ログインIDとパスワードを入力する画面に進まない場合は、右上のログインをクリックし、ログインIDとパスワードを入力してください。その後、関係者限定メニュー内の研修講座一覧へお進みください。

4 『申込み【ID】【パスワード】』を入力し、「ログイン」をクリックします。

※ 『申込み【ID】【パスワード】』は、以下の送付文書に記載されています。

平成31年3月8日付け 山教361号

「平成31年度県教育センター研修講座の受講申込みについて（依頼）」

5 研修講座一覧が表示されますので、受講申込みする講座名をクリックします。

1-1 基本研修

- ・121 特別支援学級新担任基礎研修【A】知的障がいの特別支援学級新担任教員
- ・121 特別支援学級新担任基礎研修【B】自閉症・情緒障がい、肢体不自由、病弱・身体虚弱、難聴、弱視の特別支援学級新担任教員
- ・122 通級指導教室新担当教員基礎研修
- ・123 特別支援学校新任教員基礎研修

1-2 教職2年次服務研修 14:00～16:30

- ・F01 教職2年次服務研修(村山会場)
- ・F02 教職2年次服務研修(最上会場)
- ・F03 教職2年次服務研修(置賜会場)
- ・F04 教職2年次服務研修(庄内会場)

1-3 フォローアップ研修専用選択講座[アフタヌーン講座] 14:30～16:30

- ・F05A 探究のプロセスを重視した総合的な学習の時間講座
- ・F05B ESD(持続可能な社会づくり)の授業づくり講座
- ・F05C ICT活用入門講座
- ・F06A 協調学習の授業づくり入門講座
- ・F06B 情報教育基礎講座
- ・F06C ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり講座



今年度「利用者登録」した場合、または
昨年度利用者登録した【利用者ID】
【パスワード】を利用する場合は、引き
続き「6」へお進みください。

「利用者登録せず」に申し込む場合は、
「①」(P57)にお進みください。

6 「利用者登録」した【利用者ID】(メールアドレス)、【パスワード】を入力し、「ログイン」をクリックします。

手続き申込	
手続き名	202 探究型学習推進講座B～教科等における探究型学習の授業づくり～1美術(中・高)(テスト1 H31)
受付時期	2018年12月27日0時00分～


[利用者登録せずに申し込む方はこちら](#)
[利用者登録される方はこちら](#)

既に利用者登録がお済みの方

利用者ID

パスワード

メールアドレスを変更した場合は、
ログイン後、利用者情報のメールアドレスを更新ください。

[パスワードを忘れた場合はこちら](#)

ログイン

7 「同意する」をクリックします。

手続き説明	
下記の内容を必ずお読みください。	
手続き名	214 小学校におけるプログラミング教育実践講座(テスト)
説明	
受付時期	2018年1月25日0時00分 ~
問い合わせ先	教育センター
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	

<利用規約>

〇〇電子自治体共同運営システム（電子申請サービス）利用規約

1 目的

この規約は、〇〇電子自治体共同運営システム（電子申請サービス）（以下「本システム」といいます。）を利用して〇〇県及び〇〇県内の市町村（以下「構成団体」といいます。）に対し、インターネットを通じて申請・届出及び講座・イベント申込みを行う場合の手続きについて必要な事項を定めるものです。

2 利用規約の同意

「同意する」ボタンをクリックすることにより、この説明に同意いただけたものとみなします。
登録した情報は当サービス内でのみ利用するものであり、他への転用・開示は一切行いません。

上記をご理解いただきましたら、同意して進んでください。

[一覧へ戻る](#) [同意する](#)



「8」（P58）へお進みください。

「利用者登録せず」に申し込む場合

- ① 「利用者登録せずに申し込む方はこちら」をクリックします。

- ② 「同意する」をクリックします。

この手続きは連絡が取れるメールアドレスの入力が必要です。
下記の内容を必ずお読みください。

手続き名	213 ICTを活用した授業づくり講座【前期】
説明	
受付時期	2018年4月1日0時00分～2018年11月1日0時00分

問い合わせ先	山形県教育センター
電話番号	023-654-2155
FAX番号	023-654-2159
メールアドレス	kyose-kensyu@pref.yamagata.jp

<利用規約>

山形県及び山形県内全市町村（以下、「県及び県内市町村」という。）が共同で運営する『山形県・県・市町村電子申請サービス「やまがたe申請」』（以下、「やまがたe申請」という。）を利用され、インターネットを通じて県及び県内市町村に申請・届出・施設予約等を行っていただくには、『山形県・県・市町村電子申請サービス「やまがたe申請」利用規約』（以下、「規約」という。）に同意いただく必要があります。

「やまがたe申請」を利用された方は、規約に同意したものとみなします。また何らかの理由により、規約に同意いただけなかった場合は、「やまがたe申請」のご利用をお断りいたします。

1. 目的

「同意する」ボタンをクリックすることにより、この説明に同意いただけたとみなします。
登録した情報は当サービス内でのみ利用するものであり、他への転用・開示は一切行いません。

上記をご理解いただけましたら、同意して進んでください。

受付時期は2018年4月1日0時00分～2018年11月1日0時00分です。
「申し込む」ボタンを押す時、上記の時間をすぎていると申込ができません。

一覧へ戻る 同意する

- ③ メールアドレスを入力し、完了をクリックします。

※印があるものは必須です。
この手続きはPCのみに対応しています。

連絡先メールアドレス※	
連絡先メールアドレス (確認用)※	

説明へ戻る 完了する

④ 「③」で入力したアドレスにメールが送信されます。

手続き申込

[手続き検索](#) > [手続き一覧](#) > [手続き内容](#) > [メールアドレス入力](#) > [確認メール送信完了](#) > [申込](#) > [申込確認](#) > [申込完了](#)
 STEP 1 STEP 2 STEP 3 STEP 4 STEP 5 STEP 6 STEP 7 STEP 8

メール送信完了

213 ICTを活用した授業づくり講座【前期】

メールを送信しました。
 受信したメールに記載されているURLにアクセスして、残りの情報を入力してください。
 申込画面に進めるのはメールを送信してから72時間以内です。
 この時間を過ぎた場合はメールアドレスの入力からやり直してください。

[一覧へ戻る](#)

⑤ メールを開き、記載された「URL」をクリックします。

手続き名：

213 ICTを活用した授業づくり講座【前期】

の申込画面へのURLをお届けします。

◆パソコン、スマートフォンはこちらから
<https://s-kantan.jp/pref-yamagata-u/offer/apply/cSendMail/applyOffer/action?completeSendMail/completeMail&seq=14855course=0&id=1588716883098&user=umiyayui@pref.yamagata-u.jp&id=bc918d97798e4a96b41201c816857acb>



引き続き、「8」にお進みください。

8 必要な情報を入力し、「確認へ進む」をクリックします。

氏名 ※	氏: 天童 名: 太郎
職名 ※	教諭
教歴 ▲	平成30年3月31日現在の教職経験年数を選択してください。 絞り込み検索 (全検索を行う場合は、条件を空にしてください。) 選択してください 0～3年 4～10年 11～20年
教歴コード	B
教歴	4～10年
担当学年	主に担当する学年を入力してください。該当しなければ空欄でかまいません。 3 年
フォローアップ研修として受講する場合	教職2年次・3年次フォローアップ研修該当者で、フォローアップ研修として受講する場合は、チェックを入れてください。 ☐ 2年次研 ☐ 3年次研
備考	受講に際し、特別な配慮を必要とする場合は御記入ください。

[確認へ進む](#)

9 受講申込み内容の確認後、「**申込む**」をクリックします。

氏名	天童 太郎
職名	教諭
教歴(教歴コード)	B
教歴(教歴)	4～10年
担当学年	3年
フォローアップ研修として受講する場合	
備考	

10 「**申込み完了通知メール**」(1回目のメール)が送信されます。

件名: 【申込み完了通知メール】

山形県電子申請サービス

手続き名:

218 ICTを活用した授業づくり講座【前期】

の申込を受付けました。

整理番号とパスワードをお届けします。

整理番号: 937067810610

パスワード: CPM26EY08

※ 【整理番号】【パスワード】は、実施通知文書等のダウンロードの際必要になります。プリントアウトするなどして、大切に保管してください。

※ 「利用者登録」してお申込みいただいた場合は、【整理番号】【パスワード】を使用せず実施通知文書等のダウンロードが可能になります。

11 受講申込み完了です。

※ 続けて受講申込みする場合は、【4 受講申込み】の「1」にお戻りください。

5 申込み後の手続きの手順について

- 1 受講申込みが完了した数日後に「(仮) 受講者決定のメール」(2回目のメール)が届きますので、メールの本文を御確認ください。(以下の内容と同様のものが記載されています。)

＝留意事項＝

- ・ 正式な受講者決定は、研修講座実施日の約1ヶ月前に送付する実施通知をもって決定通知とさせていただきます。
- ・ 実施通知、実施要項等は、電子申請システムからダウンロードしてください。研修講座実施日の約1ヶ月前に、ダウンロード可能のお知らせメールをいたします。
- ・ 多数の受講者が申し込まれた場合、申込み順で受講者を決定いたします。万一受講できない場合については、こちらから御連絡いたします。

- 2 研修講座実施日の約1ヶ月前に、「研修講座実施の通知、及び実施要項等の送付について」のメール(3回目のメール)が届きます。これにより、電子申請システムから関係文書のダウンロードが可能になります。

＝関係文書ダウンロードの方法＝

- 3 下記の URL より、県教育センターWeb ページを開きます。

<http://www.yamagata-c.ed.jp/>

- 4 「研修講座申込み」をクリックします。



- 5 「電子申請システムトップはこちら」をクリックします。

☒ 研修講座申込み

☐ [電子申請システムトップはこちら](#)

☐ 平成31年度 研修講座一覧はこちら

※ 研修講座一覧をクリック後、ログインIDとパスワードを入力する画面に進まない場合は、右上のログインをクリックし、ログインIDとパスワードを入力してください。その後、関係者限定メニュー内の研修講座一覧へお進みください。



「利用者登録」した場合は、引き続き「6」へお進みください。

「利用者登録せず」に申し込んだ方は、「①」（P63）にお進みください。

6 電子申請システムトップページが表示されますので、「ログイン」をクリックします。



7 【利用者ID】【パスワード】を入力し、ログインをクリックします。

利用者管理

利用者ログイン

既に利用者登録がお済みの方

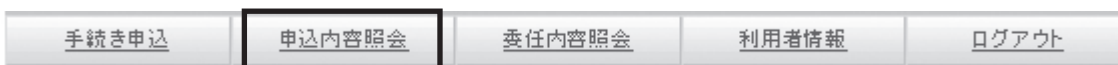
利用者ID

パスワード

メールアドレスを変更した場合は、ログイン後、利用者情報のメールアドレスを変更ください。

[パスワードを忘れた場合はこちら](#)

8 再びトップページが表示され、「申込内容照会」をクリックします。



9 「申込内容照会」では、申し込んだ研修講座の一覧が処理状況ステータスとともに表示され、ダウンロード可能になった研修講座は、「処理中（返信済）」と表示されます。

920684303417	216 チームリーダーのための ファシリテーション基礎講座(テスト)	教育センター	2018年1月26日16時	処理待ち	詳細
074890709047	215 深い学びの基盤となる学 習集団づくり講座～児童生徒 の主体性・協働性を育む開発 的教育相談のすすめ～(テスト)	教育センター	2018年1月26日16時	処理待ち	詳細
975181955829	214 小学校におけるプログラ ミング教育実践講座(テスト)	教育センター	2018年1月26日11時	処理中 (返信済)	詳細

10 「処理中（返信済）」と表示された講座の「詳細」をクリックします。

920684303417	216 チームリーダーのための ファシリテーション基礎講座(テスト)	教育センター	2018年1月26日16時	処理待ち	詳細
074890709047	215 深い学びの基盤となる学 習集団づくり講座～児童生徒 の主体性・協働性を育む開発 的教育相談のすすめ～(テスト)	教育センター	2018年1月26日16時	処理待ち	詳細
975181955829	214 小学校におけるプログラ ミング教育実践講座(テスト)	教育センター	2018年1月26日11時	処理中 (返信済)	詳細

11 申込詳細から、「返信添付ファイル1」～「返信添付ファイル3」をそれぞれクリックしてダウンロードします。

申込内容照会	
申込詳細	
手続き名	214 小学校におけるプログラミング教育実践講座(テスト)
整理番号	975181955829
処理状況	完了
処理履歴	2018年2月5日10時6分 受付時返信添付ファイルダウンロード 2018年2月5日10時2分 ファイルアップロード 2018年2月5日9時58分 受理 2018年1月26日11時37分 申込
返信添付ファイル1	01通知文書.docx
返信添付ファイル2	02〇〇講座 実施要項及び昼食申込書.docx
返信添付ファイル3	03受講者名簿.xlsx

※添付ファイルは一度パソコンに保存してから開くようにしてください。

＝留意事項＝

- ・ ダウンロードいただいた実施通知文書が、**受講者決定通知**となります。

12 ダウンロードが完了すると、「処理中（返信済）」から「完了」に表示が変わります。

920684303417	216 チームリーダーのための ファシリテーション基礎講座(テスト)	教育センター	2018年1月26日16時	処理待ち	詳細
074890709047	215 深い学びの基盤となる学 習集団づくり講座～児童生徒 の主体性・協働性を育む開発 的教育相談のすすめ～(テスト)	教育センター	2018年1月26日16時	処理待ち	詳細
975181955829	214 小学校におけるプログラ ミング教育実践講座(テスト)	教育センター	2018年1月26日11時	完了	詳細

13 処理完了となります。

- ・ 校内で、同一講座に複数名受講申込みをした場合、1名分の文書をダウンロードし、コピー等で対応いただいてもかまいません。（同一講座にアップロードされた文書は、すべて同じものです。）

「利用者登録せず」に申し込んだ場合

- ① 電子申請システムトップページが表示されますので、「**申込内容照会**」をクリックします。



- ② 「申込完了通知メール」（１回目のメール）に記載された【**整理番号**】【**パスワード**】を入力し、「**照会する**」をクリックします。

申込照会

整理番号	
パスワード	

整理番号は半角数字、パスワードは半角英数字(英字:大文字・小文字)で入力して下さい。
前後にスペースが入ると正しく認識されず、照会できませんのでご注意ください。

- ③ 「返信添付ファイル１」～「返信添付ファイル３」をそれぞれクリックしてダウンロードします。

申込内容照会

申込詳細

手続き名	213 ICTを活用した授業づくり講座【前期】
整理番号	937067810610
処理状況	処理中(返信済)
処理履歴	2018年10月5日 14時33分 ファイルアップロード 2018年10月5日 14時31分 受理 2018年10月5日 14時27分 申込
返信添付ファイル1	01 通知文書.doc
返信添付ファイル2	02 実施要項.doc
返信添付ファイル3	03 受講者名簿.xls

※添付ファイルは一度パソコンに保存してから開くようにしてください。

＝留意事項＝

- ダウンロードいただいた実施通知文書が、**受講者決定通知**となります。

- ④ 処理完了となります。

- 校内で、同一講座に複数名受講申込みをした場合、１名分の文書をダウンロードし、コピー等で対応いただいてもかまいません。（同一講座にアップロードされた文書は、すべて同じものです。）

6 電子申請システム「申込内容照会」の処理状況ステータスについて

- ・ 申込完了通知メール（１回目のメール）が届いた段階では、「処理待ち」が表示されます。

920684303417	216 チームリーダーのための ファシリテーション基礎講座(テスト)	教育センター	2018年1月26日 16時	処理待ち	詳細
074890709047	215 深い学びの基盤となる学 習集団づくり講座～児童生徒 の主体性・協働性を育む開発 的教育相談のすすめ～(テスト)	教育センター	2018年1月26日 16時	処理待ち	詳細
975181955829	214 小学校におけるプログラ ミング教育実践講座(テスト)	教育センター	2018年1月26日 11時	処理待ち	詳細

- ・ 「(仮) 受講者決定」のメール（２回目のメール）が届くと、「処理待ち」から「処理中（返信未）」に表示が変わります。

920684303417	216 チームリーダーのための ファシリテーション基礎講座(テスト)	教育センター	2018年1月26日 16時	処理待ち	詳細
074890709047	215 深い学びの基盤となる学 習集団づくり講座～児童生徒 の主体性・協働性を育む開発 的教育相談のすすめ～(テスト)	教育センター	2018年1月26日 16時	処理待ち	詳細
975181955829	214 小学校におけるプログラ ミング教育実践講座(テスト)	教育センター	2018年1月26日 11時	処理中 (返信未)	詳細

- ・ 「研修講座実施の通知、及び実施要項等の送付について」のメール（３回目のメール）が届くと、「処理中（返信未）」の表示から「処理中（返信済）」に表示が変わります。

920684303417	216 チームリーダーのための ファシリテーション基礎講座(テスト)	教育センター	2018年1月26日 16時	処理待ち	詳細
074890709047	215 深い学びの基盤となる学 習集団づくり講座～児童生徒 の主体性・協働性を育む開発 的教育相談のすすめ～(テスト)	教育センター	2018年1月26日 16時	処理待ち	詳細
975181955829	214 小学校におけるプログラ ミング教育実践講座(テスト)	教育センター	2018年1月26日 11時	処理中 (返信済)	詳細

- ・ 通知文書など添付ファイルのダウンロードが完了すると、「処理中（返信済）」から「完了」に表示が変わります。

920684303417	216 チームリーダーのための ファシリテーション基礎講座(テスト)	教育センター	2018年1月26日 16時	処理待ち	詳細
074890709047	215 深い学びの基盤となる学 習集団づくり講座～児童生徒 の主体性・協働性を育む開発 的教育相談のすすめ～(テスト)	教育センター	2018年1月26日 16時	処理待ち	詳細
975181955829	214 小学校におけるプログラ ミング教育実践講座(テスト)	教育センター	2018年1月26日 11時	完了	詳細

Ⅶ 各種様式（県教育センターWebページよりダウンロードできます）

（様式1）出前サポート申込書（全校種）

平成31年度 県教育センター 出前サポート 申込書

申込日	年	月	日	申込責任者	職	氏名
所属(学校)名				TEL		E-mail

提出先：県教育センター E-mail kyose-demae@pref.yamagata.jp ※出前サポート専用アドレス

- * 出前サポートの申込みは、年間を通して受け付けております。
- * 日程調整及び準備等の関係から、実施日の約1ヶ月前までに申込みの手続きをしてください。
- * 毎週月曜日は、県教育センター所内研修日のため、指導主事等を派遣できません。予めご了解いただき、お申込みください。
- * 県教育センターで研修講座が行われる場合、指導主事の派遣が難しい場合があります。県教育センターのWebページにて年間運営計画を確認の上、お申込みください。
- * 問い合わせ窓口は、研修課主任指導主事となります。事前に指導主事等との日程調整はできません。

記入例	講座番号	302	名称	校内研究・研修支援【教育課題】②探究型学習					実施可否	
	参加予定人数	25名	実施日 第1希望	11月15日	実施日 第2希望	11月22日	実施日 第3希望	なし	実施日	
	希望時間帯	15:00から17:00までの2時間		希望内容	校内の職員研修会として実施したい。				備考	
	その他									

1	講座番号		名称						実施可否	
	参加予定人数		実施日 第1希望		実施日 第2希望		実施日 第3希望		実施日	
	希望時間帯			希望内容					備考	
	その他									

2	講座番号		名称						実施可否	
	参加予定人数		実施日 第1希望		実施日 第2希望		実施日 第3希望		実施日	
	希望時間帯			希望内容					備考	
	その他									

【申込書作成の留意事項】

- ・ 太枠内を記入してください。実施可否及び実施日は県教育センターで記入しますので空欄にしてください。
- ・ 実施に際し、要望等がある場合は、「備考」にその旨を記入してください。
- ・ 番号301「校内研究、研修支援【教科領域】」を申込み場合は、備考欄に教科名、単元名、学年等を記入してください。
- ・ 番号302「校内研究、研修支援【教育課題】」を申込み場合は、名称欄に下記①～⑥を記入してください。

- ① 環境教育
 - ② 探究型学習
 - ③ 情報教育
 - ④ いじめ防止対策
 - ⑤ 特別支援教育
 - ⑥ 教育相談

平成〇〇年〇〇月〇〇日

県教育センター所長 殿

〇〇〇〇学校長
(公印省略)

〇〇〇〇〇〇への講師派遣について(依頼)

このたび、この〇〇〇〇を下記(または別添要項)により実施します。
つきましては、貴所 職名(指導主事等) 氏名を講師として御派遣くださるようお願いいたします。

記

- 1 日 時 平成〇〇年〇〇月〇〇日
午前〇〇時〇〇分から午前〇〇時〇〇分まで
- 2 場 所 会 場
住 所
電話番号
- 3 内 容
- 4 受講者数
- 5 そ の 他

*様式1の提出後、県教育センターからの連絡を受けた後、提出してください。
*出前サポートの旅費は、県教育センターで負担します。
*指導主事あての派遣文書は不要です。

<担当>
所属
職名・氏名
連絡先

年 月 日

県教育センター総務課長 殿

FAX 番号 023-654-2159

(送り状は不要です。このままお送りください。)

昼食及び宿泊の申込書

講座番号		研修講座名	
学 校 名	(電話番号)		
氏 名	(男・女)		

(男女は、宿泊の場合のみ記載)

1 昼食について [研修月日を記入の上、昼食申込に○印をつけてください。]

研 修 月 日	1 日目 月 日 ()	2 日目 月 日 ()	3 日目 月 日 ()
昼食申込			

2 宿泊について

(1) 宿泊と食事 [宿泊対象者のみ○印をつけてください。]

	宿泊の有無	夕食	朝食
1 泊目	有 無	要 不要	要 不要
2 泊目	有 無	要 不要	要 不要

(2) 部屋の希望 [記号に○をつけ、イで希望がある場合は記入してください。]

ア 個室を希望する

イ 相部屋を希望する

(希望同泊者名 :)

※ 講座実施日 7 日前 (土日、祝日を含めない日数) まで、FAX で申込みください。

※ 申込み後に変更がある場合は、講座実施日 3 日前 (土日、祝日を含めない日数) まで、県教育センター総務課に必ず連絡してください。それ以降は、変更できませんので御注意ください。

※ 宿泊希望者が多数の場合、個室を希望した場合でも相部屋になることがあります。御了承願います。

(様式4) 欠席届 (全校種)

				記 平成	号 年	番 月	号 日
県教育センター所長 殿							
				<u>学校名</u>			
				<u>校長名</u>			
				(公印の有無は所管による)			
欠 席 届							
下記のとおり研修講座を欠席します。							
記							
1 研修講座名							
2 欠席期日							
3 受講者 職・氏名							
4 理由							

(様式5) 遅刻・早退届 (全校種)

				記 平成	号 年	番 月	号 日
県教育センター所長 殿							
				<u>学校名</u>			
				<u>校長名</u>			
				(公印の有無は所管による)			
遅刻・早退届							
下記のとおり研修講座を_____します。							
記							
1 研修講座名							
2 出席できない期日・時間							
3 受講者 職・氏名							
4 理由							

平成31年度 研修講座案内

発 行 日 平成31年3月

編集・発行 山形県教育センター

〒994-0021

山形県天童市大字山元字犬倉津 2515

TEL 023-654-2155 (代表)

FAX 023-654-2159

URL <http://www.yamagata-c.ed.jp/>
